

令和 3 年度事業評価調書  
【総合戦略関連事業】

館林市

# 一覧表

基本目標	分野	整理番号	款項目	事業名	担当課	備考	指標評価	今後の方向性	必要性	有効性	効率性
1 豊かな地域をつくとともに、安心して働けるようにする											
産業											
		1	7・1・1	事業承継支援事業	商工課		D	継続	高	中	中
		2	7・1・2	商業金融対策事業	商工課		D	継続	高	中	中
		3	7・1・3	工業振興対策	商工課		D	継続	高	中	中
		4	7・1・8	産業団地造成事業	産業政策課		-	継続	高	中	中
		5	7・1・8	企業誘致・支援事業	商工課		D	継続	中	中	中
商業											
		6	7・1・1	商工総務	商工課		D	改善	中	中	中
		7	7・1・2	創業支援事業	商工課	再掲(21)	A	継続	高	中	中
		8	7・1・2	たてばやし商業支援事業	商工課	再掲(22)	B	継続	高	中	中
		9	7・1・2	まちなか商業活性化事業	商工課	再掲(23)	-	継続	中	中	中
労働環境											
		10	5・1・1	雇用安定対策事業	商工課		A	継続	中	中	中
農業											
		11	6・1・3	担い手育成支援事業	農業振興課		B	継続	高	中	中
		12	6・1・3	新規就農支援事業	農業振興課		B	継続	高	中	中
		13	6・1・3	スマート農業推進プロジェクト事業	農業振興課		B	継続	中	中	中
		14	6・1・3	農商工連携活性化プロジェクト事業	農業振興課		B	継続	中	中	中
		15	6・1・5	農村地域基盤整備事業	農業振興課		A	継続	高	中	中
2 本市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる											
観光											
		16	2・1・1	日本遺産推進事業	文化振興課	再掲(40)	A	継続	高	高	高
		17	7・1・4	観光事業	つつじのまち観光課		C	継続	高	中	中
		18	7・1・5	公園管理	つつじのまち観光課		B	拡大	高	中	中
		19	7・1・5	つつじが岡ふれあいセンター運営事業	つつじのまち観光課		A	縮小	中	中	低
まちなのにぎわい											
		20	2・1・6	まちひとしごと創生推進事業	企画課	再掲(28,43)	A	改善	高	中	中
		21	7・1・2	創業支援事業	商工課	再掲(7)	A	継続	高	中	中
		22	7・1・2	たてばやし商業支援事業	商工課	再掲(8)	B	継続	高	中	中

## 一覧表

基本目標	分野	整理番号	款項目	事業名	担当課	備考	指標評価	今後の方向性	必要性	有効性	効率性
		23	7・1・2	まちなか商業活性化事業	商工課	再掲(9)	-	継続	中	中	中
		24	8・4・2	中央通り線道路改良事業	都市計画課	再掲(39)	-	継続	高	中	中
		25	8・4・4	都市再生整備計画事業	都市計画課		-	継続	高	中	中
		26	8・6・1	空家対策事業	企画課		A	改善	高	中	低
		情報の共有									
		27	2・1・2	広聴広報事業	秘書課		A	継続	高	中	中
3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる											
まちなかにぎわい											
		28	2・1・6	まちひとしごと創生推進事業	企画課	再掲(20,43)	A	改善	高	中	中
子育て											
		29	3・2・1	地域子ども・子育て支援事業	こども福祉課		B	継続	高	中	中
		30	4・1・3	母子保健対策事業	健康推進課		A	継続	高	高	高
		31	4・1・3	妊娠・出産包括支援事業	健康推進課		D	継続	高	高	高
4 人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる											
防災											
		32	8・3・2	幹線排水路整備事業	道路河川課		A	継続	高	中	中
		33	8・6・1	空家対策関係	建築課	再掲(13)	A	継続	中	中	中
		34	8・6・2	住宅・建築物耐震改修等事業	建築課		D	継続	高	低	低
		35	9・1・4	防災関係	安全安心課		D	継続	高	中	中
		36	9・1・4	国土強靱化地域計画推進事業	安全安心課		-	継続	高	中	中
		37	下水道事業会計	管渠整備費(公共)	下水道課	再掲(25)	B	継続	高	中	中
道路・交通											
		38	2・1・11	公共交通整備事業	安全安心課		D	継続	高	中	中
		39	8・4・2	中央通り線道路改良事業	都市計画課	再掲(24)	-	継続	高	中	中
文化											
		40	2・1・1	日本遺産推進事業	文化振興課	再掲(16)	A	継続	高	高	高
スポーツ											
		41	10・6・1	体育・スポーツの振興(生涯スポーツ振興事業)	スポーツ振興課		A	継続	高	中	中

## 一覧表

基本目標	分野	整理番号	款項目	事業名	担当課	備考	指標評価	今後の方向性	必要性	有効性	効率性
	行政活動										
		42	2・1・5	市有財産管理費	財政課		C	継続	高	中	中
		43	2・1・6	まちひとしごと創生推進事業	企画課	再掲(20,28)	A	改善	高	中	中
		44	2・1・6	ふるさと納税事業	企画課		A	拡大	高	中	中
		45	2・1・8	情報化推進事業	企画課		C	拡大	高	中	中

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	1	基本目標	1	分野	産業	担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
7・1・1	事業承継支援事業				621千円	4千円	621千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶17_新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる
施策の方向	▶3_企業の連携・事業承継の支援

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	全国共通の課題となっている中小規模事業者の後継不足には、少子高齢化社会の進む中、黒字倒産の増加が懸念されることから、雇用機会の喪失や税収の減少といった流れに歯止めをかけるために、早急な支援を実施していく。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<b>【事業承継セミナー】</b> ・関係機関である「群馬県事業引継ぎ支援センター」や外部講師による事業承継セミナーの実施 <b>【事業承継個別相談】</b> ・関係機関である「群馬県事業引継ぎ支援センター」や専門家による個別相談の実施 <b>【企業間マッチングの実施】</b> ・市内外の幅広い業種の企業同士によるマッチングの実施	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	・ 専門家による個別相談の実施 ・ ビジネスマッチングフェア開催		・ 専門家による個別相談の実施 ・ ビジネスマッチングフェア開催	・ 専門家による個別相談の実施 ・ ビジネスマッチングフェア開催
	事業費	621	321	321
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	621	321	321

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	企業立地及び設備投資件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	4	目標値	4	8	12	16	20
		単位：件	実績値	0				
総合計画 指標	既存商店店舗診断件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	2	目標値	3	6	9	12	15
		単位：件	実績値	1				
総合計画 指標	小売業・卸売業の1店舗当たりの年間 商品販売額	337	目標値	-	338	339	339	340
		単位：百万円	実績値	-				
			目標値					
			実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	621 千円	令和3年度決算額	200 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	○令和元年度からの新規事業 ○令和元年度：ビジネスマッチングフェア共催 (金融機関と連携したビジネスマッチングフェアの開催) R2.3月に女性経営者によるパネルディスカッションを開催しようとしていたが、コロナの影響で中止となった。 ○令和2年度：コロナウイルスの影響により、イベント中止 ○令和3年度：ビジネスマッチングフェア共催 (金融機関と連携したビジネスマッチングフェアの開催) 令和3年度よりみどり市も参加し、規模拡大		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	企業間のマッチングを金融機関や商工会議所と連携し、東毛エリアにまで拡大して実施することで、接点が無かった企業間の販路拡大や事業承継に向けたマッチング機会の創出及び地元企業の雇用に繋げていくフェアを開催することができた。					
課題	工業、商業を問わず、現在の中小企業事業主の高齢化や業績の悪化等による後継者不足の課題解決のために、事業や技術を承継するための支援が必要である。 数年先を見据えて事業承継及び危機管理意識の向上を図り、事業活動を途切れさせることなく円滑に承継できる体制の構築が必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	館林市、館林商工会議所、館林信用金庫との包括連携協定の取組として実施している定期協議会の中で、ビジネスマッチング（販路拡大）や事業承継に関する支援策等を検討していく。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業間の交流を図る機会の創出（ビジネスマッチング）</li> <li>・雇用拡大に向け、関係部署と連携協力し、地元へのPR強化</li> <li>・関連アドバイザー等の継続的派遣</li> <li>・事業承継に向けた創業希望者と事業者のマッチング策の充実（人材バンク等）</li> <li>・「事業継続意識調査」を基に支援策を策定</li> </ul>					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	2	基本目標	1	分野	産業	担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
7・1・2	商業金融対策事業				775,555千円	745,061千円	1,575,735千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶17_新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる
施策の方向	▶5_経営の支援

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<p>目的：金融機関や県保証協会の協力を得て、市内中小企業者の信用力・担保力の不足を補い、融資を実施することにより、中小企業者への金融面からの支援と経営安定を図る。 また、コロナウイルスの影響により、資金繰りの圧迫を避けるべく、融資の充実を図り、臨機応変な支援を実施していく。</p> <p>内容：①小口資金保証料補助 ②経営安定資金保証料補助 ③商工業後継者育成利子補給金 ④経営安定資金利子補給金 ⑤経営振興資金利子補給金 ⑥創業融資利子補給金 ⑦金融機関への金利ゼロによる預託金 ⑧制度融資損失補償金</p>
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①小口資金保証料補助
- ②経営安定資金保証料補助
- ②商工業後継者育成利子補給
- ③経営安定資金利子補給
- ④経営振興資金利子補給
- ⑤創業融資利子補給
- ⑥金融機関への金利ゼロによる預託金
- ⑦制度融資損失補償金

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①小口資金保証料補助 ②商工業後継者育成利子補給 ③経営安定資金利子補給 ④経営振興資金利子補給 ⑤創業融資利子補給 ⑥金融機関への金利ゼロによる預託金 ⑦制度融資損失補償金	①小口資金保証料補助 ②商工業後継者育成利子補給 ③経営安定資金利子補給 ④経営振興資金利子補給 ⑤創業融資利子補給 ⑥金融機関への金利ゼロによる預託金 ⑦制度融資損失補償金	①小口資金保証料補助 ②商工業後継者育成利子補給 ③経営安定資金利子補給 ④経営振興資金利子補給 ⑤創業融資利子補給 ⑥金融機関への金利ゼロによる預託金 ⑦制度融資損失補償金
	事業費	1,575,735	1,441,160	800,000
財源	国庫	48,275	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	1,505,000	1,404,000	750,000
	一般財源	22,460	37,160	50,000

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	企業立地及び設備投資件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	目標値	4	8	12	16	20
		実績値	0				
総合計画 指標	従業員1人当たりの付加価値額	目標値	-	1,208	1,215	1,222	1,230
		実績値	-				
総合計画 指標	製造品出荷額	目標値	-	2,843	2,843	2,844	2,845
		実績値	-				
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	1,575,735 千円	令和3年度決算額	238,218 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小口資金保証料補助 R元：134件 3,081千円、R2：97件 1,468千円、R3：944千円</li> <li>・経営安定資金保証料補助（コロナウイルス対策として創設） R2：76件 27,234千円、R3：37件 8,882千円</li> <li>・商工業後継者育成利子補給金：H7以降実績なし</li> <li>・経営安定資金利子補給（延件数）R元：20件、R2：80件、R3 33件</li> <li>・経営振興資金利子補給（延件数）R元：13件、R2：5件、R3 10件</li> <li>・創業融資利子補給（延件数）R元：72件、R2：19件</li> <li>・金融機関への金利ゼロによる預託金 小口資金融資預託金 R元：219件 167,102千円、R2：170件 120,850千円、R3 148件 89,768千円</li> <li>経営安定資金融資預託金 R元：152件 163,290千円、R2：197件 530,663千円、R3 188件 617,861千円</li> <li>経営振興資金融資預託金 R元：24件 69,399千円、R2：20件 48,947千円、R3 17件 30,138千円</li> <li>・制度融資損失補償金（件数） R元：2件、R2：1件、R3：0件</li> </ul>			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中小企業者への運転資金や設備導入資金の融資により、経営の安定が図られた。</li> <li>・コロナ対応融資を創設し、事業者への融資に関する支援を実施できた。</li> <li>・創業者への融資に対する利子を補給することで、創業時の財政的な負担を軽減し、継続的な経営の支援を行った。</li> </ul>
課題	①制度融資申請者数の減少傾向（制度内容の見直し） ②コロナウイルス対策に関する融資の検討（継続） ③代位弁済の発生
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	新型コロナウイルス対策として他の支援策が講じられる中、通常の制度融資の利用率の減少も見られる。新型コロナウイルスが事業者へ与える影響を注視しつつ、制度融資と合わせた支援策を検討する必要がある。
令和5年 度事業計 画	①小口資金保証料補助 ②商工業後継者育成利子補給 ③経営安定資金利子補給 ④経営振興資金利子補給 ⑤創業融資利子補給 ⑥金融機関への金利ゼロによる預託金 ⑦制度融資損失補償金
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	3	基本目標	1	分野	産業	担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
7・1・3	工業振興対策				7,232千円	3,196千円	7,182千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶17_新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる
施策の方向	▶2_企業の誘致・拡張の推進
	▶3_企業の連携・事業承継の支援
	▶4_産学官連携の推進
	▶5_経営の支援

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業技術・技能向上対策：商工業が盛んなまちになるため、本市の大部分を占める中小企業が必要とする技術力の向上を支援する。</li> <li>工業販路拡張対策：商工業が盛んなまちになるためには、工業製品の販路の拡張や、新製品・新技術の開発が必要であり、それらに取組む中小企業を支援する。</li> </ul>
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>工業技術・技能向上対策 講師派遣委託、中小企業経営相談委託、人材養成助成、産学官サポート助成 等</li> <li>工業販路拡張対策 展示会活用支援助成金、DX技術革新補助金、たてばやしブランド商品化支援補助金 等</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール	事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業技術・技能向上対策 講師派遣委託、中小企業経営相談委託、人材養成助成、産学官サポート助成 等</li> <li>工業販路拡張対策 展示会活用支援助成金、DX技術革新補助金、たてばやしブランド商品化支援補助金 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業技術・技能向上対策 講師派遣委託、中小企業経営相談委託、人材養成助成、産学官サポート助成 等</li> <li>工業販路拡張対策 展示会活用支援助成金、DX技術革新補助金、たてばやしブランド商品化支援補助金 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業技術・技能向上対策 講師派遣委託、中小企業経営相談委託、人材養成助成、産学官サポート助成 等</li> <li>工業販路拡張対策 展示会活用支援助成金、DX技術革新補助金、たてばやしブランド商品化支援補助金 等</li> </ul>
	スケジュール			
事業費		7,182	7,484	7,484
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	20	20	20
	一般財源	7,162	7,464	7,464

### 【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	企業立地及び設備投資件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	4	目標値	4	8	12	16	20
		単位：件	実績値	0				
総合計画指標	従業員1人当たりの付加価値額	1,194	目標値	-	1,208	1,215	1,222	1,230
		単位：万円	実績値	-				
総合計画指標	製造品出荷額	2,842	目標値	-	2,843	2,843	2,844	2,845
		単位：億円	実績値	-				
			目標値					
			実績値					
			単位：					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	7,182 千円	令和3年度決算額	1,950 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	○工業技術・技能向上対策 ・講師派遣委託：安全体験研修講師派遣委託（参加者数） R元/12企業37名、R2/コロナにより実施できず、R3/コロナにより実施できず ・中小企業経営相談委託：専門家の派遣、指導等の実施 R元/3件 90,000円、R2/コロナにより実施できず、R3/コロナにより実施できず ・人材養成事業助成金：対象経費の1/2、上限30,000円/1企業 R元/0件、R2/6社 87,000円、R3/1社 11,000円 ・産学官研究サポート助成金 R元/2件/1,000千円、R2/実績なし、R3/実績なし ○工業販路拡張対策 ・展示会活用支援助成金（件数/交付額） R元/2件/173千円、R2/コロナの影響によりイベント中止、R3/1件/97千円 ・工業製品開発改善研究事業費補助金（件数/交付額） R元/実績なし、R2/実績なし、R3/実績なし ・たてばやしブランド商品化支援補助金（件数/交付額） R元年度/8件/1,984千円、R2年度/7件/2,134千円、R3年度/2件/1,000千円		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある		
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られている	□ 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	・工業技術・技能向上対策：事業の承継や労働者の技術習得は、市内企業の振興に必要である。 ・工業販路拡張対策：新製品・新技術の開発、展示会出展に支援することで、市内企業の技術力向上や販路拡大へつなげることが必要である。 ※コロナの影響で実績が減少しているが、事業へのきめ細やかな支援が一層必要である。					
課題	・工業技術・技能向上対策：事業主の高齢化による事業・技術の承継が必要である。また、技術習得及び危機管理意識の向上を図る必要がある。 ・工業販路拡張対策：利用企業が固定化してきているため、周知方法の検討が必要である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	新型コロナウイルスの影響で各事業の利用が減少するなどの影響が生じている。 既存事業を継続しつつも、状況に応じた対応が必要である。					
令和5年 度事業計 画	・工業技術・技能向上対策 講師派遣委託、中小企業経営相談委託、人材養成助成、産学官サポート助成等 ・工業販路拡張対策 展示会活用支援助成金、ぐんま技術革新チャレンジ補助金、たてばやしブランド商品化支援補助金等					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	4	基本目標	1	分野	産業	担当部署	産業政策課 事業推進係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
7・1・8	産業団地造成事業				26,553千円	26,123千円	25,941千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶17_新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる
施策の方向	▶1_新規団地の造成と拡張

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	現在、市内企業の規模拡大や新規企業誘致の受け皿となる新たな産業用地が求められており、計画的に団地造成を進め、税金や新たな雇用の創出を目指しています。 市内企業の発展と新規進出企業の増加により元気なまちを目指していきます。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
産業団地造成事業【重要事業】	
①市内企業を支援するため、既存団地の拡張 ・北部工業団地を拡張（約19.3ha）し、令和6年秋ごろの分譲を目指す。	
②新たな企業を誘致するため、新産業団地造成 ・大島地区に産業団地を計画（約56.2ha）しており、令和7年度中の分譲を目指す。	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	産業団地造成事業【重】	①(仮称)北部第四工業団地 ・事業者の決定 ・概略設計 ・地元調整(説明会、地権者交渉)	①(仮称)北部第四工業団地 ・詳細設計 ・用地買収 ・地元調整(説明会、地権者交渉)	①(仮称)北部第四工業団地 ・造成工事(周辺道路整備) ・企業選定準備 ・地元調整(説明会、地権者交渉)
		②(仮称)大島産業団地造成 ・事業者の決定 ・環境アセスメント ・地元調整(説明会、地権者交渉)	②(仮称)大島産業団地造成 ・環境アセスメント ・地元調整(説明会、地権者交渉)	②(仮称)大島産業団地造成 ・環境アセスメント ・地元調整(説明会、地権者交渉)
事業費		25,941	20,205	80,000
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	25,941	20,205	80,000

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	新規産業団地などの造成	目標値	-	-	-	19.3	56.2
		実績値	-				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	25,941千円	令和3年度決算額	21,932千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	産業団地造成事業 ①(仮称)北部第四工業団地 【令和3年度より事業実施】 ・事業者を群馬県企業局とする方針を決定(企業局と市の業務役割分担協議まで実施) ・概略設計を完了  ②(仮称)大島産業団地造成 【令和元年度】 ・団地の候補地選定 ・関係機関下協議完了(農林調整、県都市計画課、治水協議) ・団地概略設計等業務委託 ・地元説明会の実施 【令和2年度】 ・事業者予定者(群馬県企業局)との業務役割分担協議 ・土壌調査、文化財確認調査 【令和3年度】 ・環境アセスメント開始 ・個別地権者交渉の実施(大島地区ほ場整備事業と合同で実施) ・地権者会設立に向けた協議を開始			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	-
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	①(仮称)北部第四工業団地 令和4年8月の市街化区域編入、令和6年度への分譲に向け、順調に進んでいる。未同意者に対しても、補償物件調査の実施の許可を得るなど、事業協力に向け進めている。 ②(仮称)大島産業団地造成 環境アセスメントを開始し、関係機関との綿密な協議を重ね、現状での最短スケジュールで取り組んでいる。地元への対応として地権者同意率の向上、地権者会の設立準備と、事業は順調に進んでいる。法定手続きとして、令和6年度の市街化区域編入手続きに向け、関係機関に資料等の提出を行った。
課題	①(仮称)北部第四工業団地 ・未同意者への対応  ②(仮称)大島産業団地造成 ・未同意者への対応
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )  ①(仮称)北部第四工業団地 令和6年度への分譲に向けた周辺整備(取付道路等)の実施、群馬県企業局による進出企業選定への対応を行う。 ②(仮称)大島産業団地造成 群馬県企業局による「環境アセスメント」の進捗確認並びに地元対応、地権者同意率の向上に努める。
令和5年度 事業計画	①(仮称)北部第四工業団地 群馬県企業局による造成工事を予定しており、企業局と連携を密に取り、周辺への影響を極力少ない形で工事等を進めて行く。また、区域外の取付道路工事等が発生するため、庁内で連携を図り、団地の周辺整備も含めて遅滞なく事業を進めて行く。 ②(仮称)大島産業団地造成 群馬県企業局による「環境アセスメント」が実施中のため、継続して関係機関や地元との調整を進める。また、未同意者から同意を得るため、地権者会と協力し個別交渉を進めて行く。引き続き、令和6年度の市街化区域編入手続きに向け、法定手続きに関する資料等の作成を進める。
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	5	基本目標	1	分野	産業	担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
7・1・8	企業誘致・支援事業				2,199千円	769千円	1,149千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶17_新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる
施策の方向	▶2_企業の誘致・拡張の推進
	▶3_企業の連携・事業承継の支援
	▶4_産学官連携の推進
	▶5_経営の支援

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<p>目的：地域の産業集積向上と経済活性化を図るため、新たな工業団地の開発、工場用地等の利用促進、企業立地優位性のPRにより、企業誘致を推進する。 本社機能を誘致し、新たな雇用を創出するとともに、社員の移住促進により人口増加を図る。 市内企業との連携を強化し、経営の安定・向上を支援するとともに、良好な関係を築くことにより市外への流出を防止する。</p> <p>内容：団地開発の各種手続き、立地環境のPR、立地希望企業と宅建業者等のマッチング、本社機能誘致移住奨励金交付、企業訪問を通じた情報交換・要望把握、企業の業績安定・向上への支援等</p>
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ・立地希望企業と宅地建物取引業者とのマッチングや、工場用地等の情報収集・提供により、企業立地の促進及び工業系用地の有効活用を図る。
- ・本市の優れた立地環境を広く東京圏の企業にアピールし、更なる企業立地を推進する。
- ・新たな団地開発・分譲と整合した時期に合わせ、誘致に向けた優遇制度を検討する。
- ・団地内企業や団地外主要企業（従業員30名以上）を定期的に訪問し、要望把握や情報交換を行い、経営の安定・向上を支援する。
- ・同意を得られた企業の情報を市ホームページや企業立地マップで発信・PRすることにより、企業の受注機会拡大を支援する。
- ・工場立地法に基づく地域準則条例（敷地面積に対する緑地・環境施設の面積率緩和）を周知し、土地の有効活用による建替えや増設を促し、設備投資の拡大につなげる。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業団地造成計画の推進</li> <li>・群馬県担当部局との連携</li> <li>・各種媒体による企業紹介</li> <li>・パンフレット、マップ作製</li> <li>・空き工場、用地等の情報収集</li> <li>・地域準則条例の相談、案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業団地造成計画の推進</li> <li>・群馬県担当部局との連携</li> <li>・各種媒体による企業紹介</li> <li>・パンフレット、マップ作製</li> <li>・空き工場、用地等の情報収集</li> <li>・地域準則条例の相談、案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業団地造成計画の推進</li> <li>・群馬県担当部局との連携</li> <li>・各種媒体による企業紹介</li> <li>・パンフレット、マップ作製</li> <li>・空き工場、用地等の情報収集</li> <li>・地域準則条例の相談、案内</li> </ul>
	事業費	1,149	1,149	1,149
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,149	1,149	1,149

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	企業立地及び設備投資件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	目標値	4	8	12	16	20
		実績値	0				
総合計画 指標	従業員1人当たりの付加価値額	目標値	1,194	1,208	1,215	1,222	1,230
		実績値					
総合計画 指標	製造品出荷額	目標値	2,842	2,843	2,843	2,844	2,845
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	1,149千円	令和3年度決算額	129千円		
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな工業団地開発 R元：大島地区ほ場整備及び団地開発区域を決定 R2：業務分担協議、土壌調査、環境アセスメント</li> <li>・分譲済団地の操業支援 R元：東洋水産(株)総合研究所への継続支援、大同薬品工業(株)が竣工 R2：東洋水産(株)総合研究所への継続支援</li> <li>・本社機能誘致移住奨励金 R元：申請件数19件、支給金額2,225,000円 R2：申請件数5件、支給金額550,000円 R3：実績なし</li> <li>・ぐんま企業立地セミナー参加 R元：群馬県が実施せず、中止 R2：コロナの影響で実施せず R3：群馬県が実施せず、中止</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致パンフレット作製 R元：実績なし R2：実績なし R3：実績なし</li> <li>・企業訪問件数 R元：20社（訪問対象企業数160社） R2：コロナの影響で訪問実績はなし（訪問対象企業数160社） R3：コロナの影響で訪問実績はなし（訪問対象企業数160社）</li> <li>・市ホームページを利用した団地内企業の紹介 R元：84社の情報発信（団地内対象企業102社） R2：84社の情報発信（団地内対象企業102社） R3：実績なし</li> <li>・館林市立地企業マップ作製 R元：実績なし R2：実績なし R3：実績なし</li> </ul>		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	本市には企業立地優位性があり、継続的に企業からの引き合いもあることから、進出を希望する企業からの要望に応じられるよう、団地開発計画の事業化を推進し、企業誘致を図る必要がある。 地域経済の活性化のためには、新たな企業を誘致するだけでなく、既存企業の経営安定・向上を支援し、市外への流出を防止していく必要がある。企業にとってのワンストップ窓口として、情報交換や要望把握に努め、連携を強化していかなければならない。					
課題	大島地区産業団地の造成が進められているが、団地造成と企業誘致を別の部署で進めていることによる弊害があり、事務分掌や人員配置の見直しが必要と考える。 現時点で企業が進出可能な大規模用地が存在しないことから、分譲可能な時期を迎えるまでは宅建業者と連携し、工業系用地の有効活用を推進しなければならない。 既存企業の業績安定や向上、市外への流出防止のため、情報交換や要望把握に努め、可能な限り協力・支援を行うことにより、連携強化を図っていかなければならない。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	団地造成と企業誘致を一体的に推進していくことで、進出希望企業に対する継続的なアプローチが必要である。 企業からの引合いが多数寄せられている現状を見る限り、分譲地の売れ残りという不安はあるものの、今後も団地開発を進める必要がある。 進出企業に対する優遇制度を充実させることで、優良企業の進出を促進する					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業団地開発に向けた庁内関係課や県と協議、調整（但し、担当は別部署）</li> <li>・企業立地マッチング促進事業、工場用地等情報提供事業の実施</li> <li>・企業誘致パンフレットの更新、配布</li> <li>・本社機能誘致移住奨励金</li> <li>・団地内企業及び団地外主要企業の訪問</li> <li>・団地内立地企業を紹介するホームページの更新</li> <li>・立地企業マップの更新、配布</li> </ul>					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	6	基本目標	1	分野	商業	担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
7・1・1	商工総務				5,478千円	4,453千円	6,150千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策の方向	▶3_経営の支援

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅リフォーム資金助成金：経済対策として、市内経済の活性化に資するとともに、住宅環境の改善及び移住定住の促進を図る。</li> <li>・移住定住促進リフォーム資金助成金：基本は住宅リフォームと同じであるが、移住定住促進を図ることを目的に、市内物件を取得し、市外から市内に居住した方を支援する。</li> <li>・多世代同居支援助成金：経済対策として、多世代同居のための個人住宅リフォーム工事を行った者に対し助成金を交付することで、移住者・定住者への移住支援を図る。</li> </ul>
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>○住宅リフォーム資金助成金</p> <p>市内の住宅のリフォーム工事に対し助成金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成対象者：本市に居住し、当該住宅に居住している者</li> <li>・助成対象住宅：市内に存する住宅（築年数5年以上）</li> <li>・助成対象工事：20万円以上（消費税込）で市内に本店のある事業者が施工する工事</li> <li>・助成金の額：助成対象経費の10分の1に相当する額とし、3万円を限度とする。</li> </ul> <p>○移住定住支援リフォーム資金助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成対象者：本助成を申請する日の属する年度の3月末日までにリフォーム工事を完了し、本市に転入し、居住する者</li> <li>・助成対象住宅：市内に存する住宅（築年数5年以上）</li> <li>・助成対象工事：20万円以上（消費税込）で市内に本店のある事業者が施工する工事</li> <li>・助成金の額：助成対象経費の3分の1に相当する額とし、30万円を限度とする。</li> </ul> <p>○多世代同居支援助成金</p> <p>住宅リフォーム資金助成金の交付決定を受けた者で、個人住宅リフォーム工事完了後、速やかに多世代同居すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金の額 一律15万円とする。</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール	事業費	6,150	6,150	6,150
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	194	194	194
	市債	0	0	0
	その他	694	694	694
	一般財源	5,262	5,262	5,262

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 企業立地及び設備投資件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	4	目標値	4	8	12	16	20
	単位：件	実績値	0				
総合計画指標 従業員1人当たりの付加価値額	1,194	目標値	-	1,208	1,215	1,222	1,230
	単位：万円	実績値	-				
総合計画指標 製造品出荷額	2,842	目標値	-	2,843	2,843	2,844	2,845
	単位：億円	実績値	-				
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	6,150 千円	令和3年度決算額	4,991 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・住宅リフォーム資金助成金（件数/交付額） R元：（56件/1,630千円：うち市外から転入0件/ 0千円） R2：（53件/2,183千円：うち市外から転入3件/ 728千円） R3：（64件/2,207千円：うち市外から転入2件/ 383千円） ・多世代同居支援助成金（件数/交付額/同居者数）※H28年度から実施 R元：（実績なし） R2：（3件/450千円/同居者7名：うち市外から転入4名+市内3名） R3：（2件/300千円/同居者5名：うち市外から転入3名+市内2名）			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与 している事業であ る	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得ら れている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果 が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	市内中小事業者の仕事を生み出し、地域経済の循環を目的とした施策としてH23年度から実施しており、一定の経済効果を達成できたと考える。					
課題	利用者の状況を見る限り、リフォームが必要な方が少しでも費用の足しになればということで利用している ケースが多いようである。そのため、市内事業者の価格と市外事業者の価格を比較してメリットが感じられ ない場合には利用されにくい。 今後、住環境の改善や移住定住促進を前提とした支援をする場合は、空き家への助成等、住宅施策などと統 合した形で進めていくことも必要である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	経済対策としてのリフォーム支援制度を見直し、空き家の利活用・移住定住促進を目的とした施策へ転換、 統合していく必要がある。					
令和5年 度事業計 画	経済対策としてのリフォーム支援制度を見直し					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	7	基本目標	1	分野	商業	担当部署	商工課	商業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
7・1・2	創業支援事業				8,188 千円	2,067 千円	7,910 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶2_アントレプレナーの発掘・育成と遊休不動産の活用
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	創業に興味のある方や創業しようと考えている方が、新しく事業を起こし、事業を継続することができるために、創業の段階に応じた支援を行い、空き店舗などの遊休不動産の活用や雇用の創出に繋げる。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①創業塾開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本編（単発講座、年2回）</li> <li>・応用編（5回連続講座、年1回）</li> </ul> <p>②創業支援補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備費補助（改装・設備費）</li> </ul> <p>③店舗診断</p> <p>④創業なんでも相談会</p> <p>たてばやし創業ネットワーク（日本政策金融公庫前橋支店、群馬県信用保証協会太田支部、館林信用金庫、関東信越税理士会館林支部、群馬県社会保険労務士会太田支部、群馬県行政書士会、群馬県中小企業診断士協会、館林商工会議所、Tatebayashi West Farm Market、館林市）</p> <p>⑤会社設立支援補助</p> <p>⑥チャレンジショップ整備</p>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	事業費	7,910	8,330	8,330
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	115	483	483
	一般財源	7,795	7,847	7,847

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	遊休不動産の利活用件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	2	目標値	3	6	9	12	15
		単位：	実績値	4				
総合計画 指標	【市民アンケート】商工業（経営改善、 跡取り、担い手など）の振興の満足度	6.7	目標値	-	9.7	-	-	12.7
		単位：%	実績値	-				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	7,910 千円	令和3年度決算額	6,257 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■遊休不動産の利活用件数 令和3年度までの累計実績 6件 (令和元年度：0件、令和2年度：2件、令和3年度：4件) ①創業塾開催 ・基本編（単発講座、年2回） 令和元年度：年1回(15人)、令和2年度：年1回※オンライン(4人)、令和3年度：年2回(創業塾6人、創業カフェ6人) ・応用編（5回連続講座、年1回） 令和元年度：年1回(6人)、令和2年度：年1回(6人)、令和3年度：年1回(7人) ・応用編受講後創業した人数 令和元年度：一人、令和2年度：2人、令和3年度：3人 ②創業支援補助金 ・設備費補助（改装・設備費） 令和元年度：0件、令和2年度：2件、令和3年度：1件 ③店舗診断 令和元年度：0件、令和2年度：2件、令和3年度：1件 ④創業なんでも相談会 令和元年度：0件、令和2年度：2件、令和3年度：1件 ⑤会社設立支援補助 令和3年度【新規】2件（株式会社 1件、合同会社 1件） ⑥チャレンジショップ整備		

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	A			
事業の必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 低	政策の推進に寄与している事業である 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られている □ 低 成果が低水準にある
事業の効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている □ 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	遊休不動産の利活用件数の指標については、計画期間5か年の累計値としての目標値のとおりの実績をあげることができた。			
課題	・創業のあらゆるステージに対応した支援の実施 ・創業経験者による創業支援 ・創業塾修了後の起業支援の継続			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	多様化する創業の形態に対応した創業支援を実施する			
令和5年度事業計画	①創業塾開催 ・基本編（単発講座、年2回）   ・応用編（5回連続講座、年1回） ②創業支援補助金 ・設備費補助（改装・設備費） ③店舗診断 ④創業なんでも相談会 たてばやし創業ネットワーク（日本政策金融公庫前橋支店、群馬県信用保証協会太田支部、館林信用金庫、関東信越税理士会館林支部、群馬県社会保険労務士会太田支部、群馬県行政書士会、群馬県中小企業診断士協会、館林商工会議所、Tatebayashi West Farm Market、館林市） ⑤会社設立支援補助 ⑥チャレンジショップ管理運営			
予算規模見込み	■ 同規模	□ 拡大	□ 縮小	※前年度比較
備考				

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	8	基本目標	1	分野	商業	担当部署	商工課	商業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
7・1・2	たてばやし商業支援事業				8,934 千円	5,213 千円	8,417 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策目的	▶22_人が集まり市民自らがつくるにぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶2_アントレプレナーの発掘・育成と遊休不動産の活用
	▶3_経営の支援
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	事業者の稼ぐ力や遊休不動産の活用によるエリアの価値、「食」を資源とした地域のブランディングなど、公民連携により、地域の価値を高める事業を実施する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①商店店舗診断	
②リノベーションまちづくり事業 「わたしたちの月3万円ビジネス」開催 ・体験ワークショップ 1回 ・講座（全6回） ※最終回にマルシェ出店	
③たてばやしグルメ地域ブランディング事業 「百年小麦」ブランディング委員会 ・公式ホームページの運用 ・「百年小麦」生産収穫体験 ・「百年小麦」食育事業 ・「百年小麦」販売促進 ・「百年饅頭」給食導入	

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業	・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業	・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業
	事業費	8,417	8,417	8,417
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	180	180	180
	一般財源	8,237	8,237	8,237

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	小売業・卸売業の1店舗当たりの年間商品販売額	337	目標値	-	338	339	339	340
		単位：百万円	実績値	-				
総合計画 指標	遊休不動産の利活用件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	2	目標値	3	6	9	12	15
		単位：件	実績値	4				
総合計画 指標	【市民アンケート】買物(商店、スーパーなど)の の利便さ、まちなかのにぎわい満足度	28.5	目標値	-	31.5	-	-	34.5
		単位：%	実績値	-				
総合計画 指標	【市民アンケート】商工業(経営改善、 跡取り、担い手など)の振興の満足度	6.7	目標値	-	9.7	-	-	12.7
		単位：%	実績値	-				
総合計画 指標	既存商店店舗診断の件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	2	目標値	3	6	9	12	15
		単位：件	実績値	1				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	8,417 千円	令和3年度決算額	4,277 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■遊休不動産の利活用件数 令和3年度までの累計実績 6件 (令和元年度：0件、令和2年度：2件、令和3年度：4件)  ■既存商店店舗診断 令和3年度までの累計実績 3件 (令和元年度：2件、令和2年度：0件、令和3年度：1件)		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られている	□ 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	遊休不動産の利活用件数の指標については、計画期間5か年の累計値としての目標値とおりの実績をあげることができた。 既存商店店舗診断の指標については、計画期間5か年の累計値としての目標値を実績値が下回った。原因としては、コロナ禍により、商店主が中小企業診断士の店舗訪問及び3回の面談に対して抵抗感を持ったことなどが考えられる。					
課題	・遊休不動産の利活用件数の増加 ・既存商店への店舗診断の実施による経営改善、事業継続、魅力ある商品の・サービスの提供による売り上げ増加					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)					
令和5年度事業計画	・リノベーションまちづくりの推進によって、遊休不動産を利活用する人材の育成とまちなかのにぎわい満足度の向上 ・商店店舗診断の実施による年間商品販売額の増加と商工業(経営改善、跡取り、担い手など)の振興の満足度向上 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業による「百年小麦」を核とした商品の付加価値向上					
令和5年度事業計画	①商店店舗診断 ②リノベーションまちづくり事業 「わたしたちの月3万円ビジネス」開催 ・体験ワークショップ 1回 ・講座(全6回) ※最終回にマルシェ出店 ③たてばやしグルメ地域ブランディング事業 「百年小麦」ブランディング委員会 ・公式ホームページの運用 ・「百年小麦」生産収穫体験、食育事業、販売促進、給食導入					
予算規模 見込み	■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小 ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	9	基本目標	1	分野	商業	担当部署	商工課 商業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
7・1・2	まちなか商業活性化事業				6,237 千円	2,068 千円	5,493 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	中心市街地における駐車場の確保、商店街や商工会議所などが主体となったイベントへの助成などにより、便利で快適な市民生活を確保する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○市営駐車場設置（大手町市営駐車場、下町市営駐車場※用地賃借）</li> <li>○初市開催負担金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催：商店街連合会、商工会議所、館林市</li> <li>・起源：明治15年頃</li> </ul> </li> <li>○七夕まつり開催負担金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催：たてばやし七夕まつり実行委員会（5商店街、商工会議所、会議所青年部、青年会議所、館林市）</li> <li>・起源：明治中期</li> </ul> </li> <li>○商店街環境改善事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容：プランター設置等による街路装飾事業に対する補助</li> <li>・積算根拠：事業費の1/3補助（館林市商店街等活性化事業助成要綱）</li> </ul> </li> <li>○商店街活性化事業費助成金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容：商店街、商店街連合会等が行う研修やイベントを補助し、市商業の発展に寄与する。</li> <li>・積算根拠：事業費の1/3補助（館林市商店街等活性化事業助成要綱）</li> </ul> </li> <li>○まちづくり総合支援事業助成金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容：商業及び近隣商業地域に設置してあり、商店街又は街路灯維持管理団体が管理している街路灯への補助。</li> <li>・積算根拠：電気料1年分（9月分×12か月分）の30%を補助</li> </ul> </li> <li>○まちなかフェス開催委託 <ul style="list-style-type: none"> <li>交流人口の拡大と公共空間を利活用して官民連携のフェスを開催する。</li> </ul> </li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール	事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営駐車場用地確保</li> <li>・初市開催負担金</li> <li>・七夕まつり開催負担金</li> <li>・商店街環境改善事業費補助金</li> <li>・商店街活性化事業費助成金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営駐車場用地確保</li> <li>・初市開催負担金</li> <li>・七夕まつり開催負担金</li> <li>・商店街環境改善事業費補助金</li> <li>・商店街活性化事業費助成金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営駐車場用地確保</li> <li>・初市開催負担金</li> <li>・七夕まつり開催負担金</li> <li>・商店街環境改善事業費補助金</li> <li>・商店街活性化事業費助成金</li> </ul>
	スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街連合会、5商店街事業補助</li> <li>・グルメ総選挙開催補助</li> <li>・まちゼミ開催補助</li> <li>・まちづくり総合支援事業助成金</li> <li>・まちなかフェス開催委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街連合会、5商店街事業補助</li> <li>・グルメ総選挙開催補助</li> <li>・まちゼミ開催補助</li> <li>・まちづくり総合支援事業助成金</li> <li>・まちなかフェス開催委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街連合会、5商店街事業補助</li> <li>・グルメ総選挙開催補助</li> <li>・まちゼミ開催補助</li> <li>・まちづくり総合支援事業助成金</li> <li>・まちなかフェス開催委託</li> </ul>
事業費		5,493	5,493	5,493
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,493	5,493	5,493

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画指標	【市民アンケート】買物(商店、スーパーなど)の の便利さ、まちなかのにぎわい満足度	28.5	目標値	-	31.5	-	-	34.5
		単位：%	実績値	-				
			目標値					
		単位：	実績値					



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	10	基本目標	1	分野	労働環境	担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
5・1・1	雇用安定対策事業				18,699千円	30,905千円	15,579千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶19_生き生きと安心して働ける環境が整ったまちになる
施策の方向	▶1_若年層の市内就職の促進
	▶2_雇用の促進
	▶3_ワーク・ライフ・バランスの趣旨普及と取組促進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市内企業の人材確保を支援するとともに、技能労働者の育成支援、労働者の雇用形態安定化・定住化を図る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者のUIターン就職支援（地元企業ガイダンスの開催、ものづくりを知るバスツアーの開催）</li> <li>・各種奨励金の交付（UIターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金、高齢者雇用奨励金、移住定住促進通勤支援金）</li> <li>・技能労働者の育成支援（館林地区職業訓練運営会への補助）</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者のUIターン就職支援（地元企業ガイダンスの開催、ものづくりを知るバスツアーの開催）</li> <li>・各種奨励金の交付（UIターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金、高齢者雇用奨励金、移住定住促進通勤支援金）</li> <li>・技能労働者の育成支援（館林地区職業訓練運営会への補助）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者のUIターン就職支援（地元企業ガイダンスの開催、ものづくりを知るバスツアーの開催）</li> <li>・各種奨励金の交付（UIターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金、高齢者雇用奨励金、移住定住促進通勤支援金）</li> <li>・技能労働者の育成支援（館林地区職業訓練運営会への補助）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者のUIターン就職支援（地元企業ガイダンスの開催、ものづくりを知るバスツアーの開催）</li> <li>・各種奨励金の交付（UIターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金、高齢者雇用奨励金、移住定住促進通勤支援金）</li> <li>・技能労働者の育成支援（館林地区職業訓練運営会への補助）</li> </ul>	
	事業費	15,579	15,579	15,579	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	15,579	15,579	15,579	

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合戦略 KPI	企業ガイダンス参加者数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	目標値	507	500	1,000	1,500	2,000	2,500
		実績値	単位：人	300				
総合戦略 KPI	UIターン支援奨励金の受給労働者数	目標値	46	40	40	40	40	
		実績値	単位：人	38				
活動指標	職業訓練校入校者数	目標値	1	1	1	1	1	
		実績値	単位：人	5				
		目標値						
		実績値	単位：					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	15,579千円	令和3年度決算額	15,588千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	○若者のUIターン就職支援 地元企業ガイダンスの開催、地元企業情報の発信等 ○各種奨励金の交付 ・トライアル雇用奨励金 R元年度 5人、R2年度 1人、R3年度 0人 ・障がい者雇用奨励金 R元年度 3人、R2年度 2人、R3年度 2社2人 ・高齢者雇用奨励金 R元年度 7人、R2年度 0人、R3年度 3社3人 ・UIターン支援奨励金 R元年度12社46人、R2年度12社36人、R3年度12社38人 ・正規雇用促進奨励金 R元年度10人、R2年度5人、R3年度 9社12人 ・移住定住促進通勤支援金 R元年度14人、R2年度15人、R3年度17人 ※単年度のみ奨励金 ・R3：市民雇用奨励金(令和3年度補正) 4社(4名) ・R2：人材確保補助金(令和2年度補正) 即戦力人材採用 5社(7人) 求人情報発信 45社 ○技能労働者の育成支援 館林地区職業訓練運営会への補助		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A		
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 低
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 低
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 低
評価根拠	各種奨励金とも周知が図れてきたこともあり、利用者が年々増加傾向にある一方で、一部奨励金（トライアル雇用奨励金・障がい者雇用奨励金）については、該当する人材の採用自体を敬遠する企業も依然として多い。 企業ガイダンスはオンラインでの開催により対面方式との参加人数の捉え方に差異が出ている。		
課題	・トライアル雇用や障がい者雇用に関しては、国により助成金制度が設けられているため、市単の補助による効果は薄い（廃止を検討）。 ・高齢者雇用奨励金は申請件数等の推移を確認しながら、縮小や要綱改定を検討していく。 ・UIターン支援奨励金は移住者支援強化で要綱改定済、雇用と連携した定住支援を検討していく。 ・移住定住促進通勤支援金は雇用施策ではないため、定住促進通学支援金と併せて企画課で取り扱うべきである。		
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )		
	・若者のUIターン就職支援として、学校、ハローワーク館林、商工会議所と連携し地元企業ガイダンスの開催を継続する。 ・各種奨励金（UIターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金、高齢者雇用奨励金、移住定住促進通勤支援金）により、雇用の安定を推進する。 ・技能労働者の育成支援として、館林地区職業訓練運営会への補助。		
令和5年度事業計画	○若者のUIターン就職支援（地元企業ガイダンスの開催、学生と企業のマッチング） ○各種奨励金の交付（UIターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金、高齢者雇用奨励金、移住定住促進通勤支援金） ○技能労働者の育成支援（館林地区職業訓練運営会への補助）		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	11	基本目標	1	分野	農業	担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
6・1・3	担い手育成支援事業				7,433 千円	4,871 千円	15,841 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶2_付加価値の向上と効率化

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農産物を安定して供給するまちにするために、認定農業者を始めとするこれからの地域農業の担い手となる農家に、経営改善に役立つ補助事業の実施や情報提供等の支援を行い、意欲のある農業者を育てる。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①担い手支援事業【重要事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園芸産地育成事業費補助金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「野菜王国ぐんま」</li> <li>「儲かる野菜経営と活力ある野菜産地」を実現するためにその目標達成に向けた積極的な取組を支援する。</li> </ul> </li> <li>・園芸施設支援事業補助金</li> <li>耐用年数5年以上のハウス被覆材の整備に要する経費について、その経費の一部を補助する。</li> </ul>
○新技術導入事業費補助金	農産物の収量向上や経営安定に資する新技術導入を支援する。
○農業用機械導入支援事業費補助金	高性能の大型機械を導入し、農作業の省力化・効率化等に取組む農業者に対し、その導入経費の一部を補助する。
○農業団体協議会等負担金・補助金	農業研究会連絡協議会活動促進費補助金、認定農業者協議会補助金、邑楽館林農業協同組合青年部館林明和支部活動負担金、生命を育む農業のまち邑楽館林推進協議会負担金
②農業制度資金事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業近代化資金利子補給金</li> </ul>

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	①担い手支援事業【重】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸産地育成事業費補助金</li> <li>・新技術導入事業費補助金</li> <li>・農業用機械導入支援事業費補助金</li> <li>・農業団体協議会等負担金・補助金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸産地育成事業費補助金</li> <li>・新技術導入事業費補助金</li> <li>・農業用機械導入支援事業費補助金</li> <li>・農業団体協議会等負担金・補助金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸産地育成事業費補助金</li> <li>・新技術導入事業費補助金</li> <li>・農業用機械導入支援事業費補助金</li> <li>・農業団体協議会等負担金・補助金</li> </ul>	
	②農業制度資金事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業近代化資金利子補給金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業近代化資金利子補給金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業近代化資金利子補給金</li> </ul>	
	事業費	15,841	15,841	15,841	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	10,000	10,000	10,000
市債		0	0	0	
その他		0	0	0	
	一般財源	5,841	5,841	5,841	

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5				
総合計画 指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	15,841 千円	令和3年度決算額	5,325 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■担い手支援事業【重要事業】 ○園芸産地育成事業費補助金 環境制御装置導入支援（県補助） 令和2年度：1件 2,840㎡ ハウス被覆資材張替補助（市補助） 令和元年度：1件 462㎡、令和2年度：1件 500㎡、令和3年度：5件 5,129㎡ ○新技術導入事業費補助金（市補助） 令和元年度：4件（炭酸ガス発生1、自動灌水2、環境測定1） 令和2年度：3件（天窗減速機1、細霧システム1、炭酸ガス発生1） 令和3年度：3件（炭酸ガス発生2、自動灌水1） ○農業用機械導入支援事業費補助金 県補助 1件（シーダー用ロータリー） 市補助 3件（コンバイン1、田植機2） ■農業制度資金事業 ○農業近代化資金利子補給金 令和3年度までの累計実績 17件（うち新規7件）		

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	B
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところ が大きい。農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳 産出額の減少によるものと思われる。
課題	農業用生産資材・機械価格が高騰しており、農家経営を圧迫している。 市内の中心経営体は大規模な個人経営が殆どであり、法人化が進んでいない。
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	引続き、営農意欲のある農業者に対し、農業用施設や機械等の導入支援を行う。 法人化を促進し、営農の合理性を高め、生産力を向上させ、本市の農業生産力の維持・向上を目指す。
令和5年度事業計画	・園芸産地育成事業費補助金 ・新技術導入事業費補助金 ・農業用機械導入支援事業費補助金 ・農業団体協議会等負担金・補助金 ・農業近代化資金利子補給金
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	12	基本目標	1	分野	農業	担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
6・1・3	新規就農支援事業				4,422 千円	832 千円	3,117 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農業に興味のある者、これから農業を始めようとする者に、実践的な農業の体験等様々な情報を提供し、農業に対する興味を高め、農業を生業として選択できる環境及び条件整備を図る。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①新規就農支援事業【重要事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会負担金 邑楽館林管内1市5町と邑楽館林農業協同組合で構成する「邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会」を設置し、新規就農を目指す者を関係機関が連携して支援するもの。</li> <li>・ 新規就農者営農支援補助金 農業後継者及び担い手の確保、育成を図るため、新規就農者等の営農に要する経費に対し、その一部を補助する。</li> <li>・ 新規就農者研修支援補助金 新規就農を目指す者の研修を支援することで、就農に対する意欲の向上、新規就農者の掘り起こし及び獲得の推進を図る。</li> <li>・ 農業次世代人材投資事業補助金 準備型：都道府県が認める農業大学校等の研修機関で研修を受けた者に対し、交付主体（県又は青年農業者等育成センター）が資金を交付して研修実施を支援するもの。／経営開始型：独立自営で新規就農した者に対し、経営が安定するまでの一定の期間、資金を交付するもの。</li> </ul>
-----------------	---

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①新規就農者支援事業【重】 ・ 邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会負担金 ・ 新規就農者営農支援補助金 ・ 新規就農者研修支援補助金 ・ 農業次世代人材投資事業補助金			
事業費		3,117	3,117	3,117
財源	国庫	0	0	0
	県費	1,500	1,500	1,500
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,617	1,617	1,617

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5				
総合計画 指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	3,117千円	令和3年度決算額	2,817千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■新規就農支援事業【重要事業】 ・邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会 令和3年度までの相談会等累計実績（相談会3回、現地説明会3回、視察1回、意見交換会1回） ・新規就農者営農支援補助金（市補助） 令和3年度までの累計実績（3名） ・新規就農者研修支援補助金（市補助） 令和3年度までの累計実績（1名） ・農業次世代人材投資事業補助金 令和3年度までの累計実績（1名）			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	■ 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	□ 中	政策の推進に寄与し ている事業である	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られ ている	□ 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水 準にある	■ 中	適切な費用対効果が 得られている	□ 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳産出額の減少によるものと思われる。					
課題	農業への人材の一層の呼び込みと定着を図るため、いかに新規就農者の掘り起こしができるか。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	引続き、「邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会」を中心に関係機関と連携し、新規就農を目指す者を支援する。					
令和5年 度事業計 画	・邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会負担金 ・新規就農者営農支援補助金 ・新規就農者研修支援補助金 ・農業次世代人材投資事業費補助金 ・新規就農者育成総合対策事業費補助金					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	13	基本目標	1	分野	農業	担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
6・1・3	スマート農業推進プロジェクト事業				1,251 千円	1,026 千円	1,958 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶2_付加価値の向上と効率化

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	スマート農業の推進を図るため、ICTを活用して農業の実証分析を行い、作業の効率化、軽労働化、品質安定など魅力ある農業の推進を目指す。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①スマート農業推進プロジェクト事業【重要事業】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先端農業技術活用実証業務委託 畜産のICT化を推進し、経営の効率化及び省力化を図るため、本市畜産農家（肉牛・酪農家）にICT機等導入し実証業務を行う。</li> <li>・ICT機器導入支援事業費補助金 農業の省力化及び効率化のためICTを活用して農業用機械を導入する担い手の農業者へ導入経費の一部を補助し、スマート農業の推進を図る。</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール		①スマート農業推進プロジェクト事業【重】 ・先端農業技術活用実証業務委託 ・ICT機器導入支援事業費補助金	①スマート農業推進プロジェクト事業【重】 ・先端農業技術活用実証業務委託 ・ICT機器導入支援事業費補助金	①スマート農業推進プロジェクト事業【重】 ・先端農業技術活用実証業務委託 ・ICT機器導入支援事業費補助金
事業費		1,958	1,958	1,958
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,958	1,958	1,958

### 【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5				
総合計画指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	1,958 千円	令和3年度決算額	1,885 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■スマート農業推進プロジェクト事業【重要事業】 ・先端農業技術活用実証業務委託 令和元年度：水位センサー及びセンサーカメラ 令和2年度：水位センサー兼環境測定器及びスマート農業試験実証 令和3年度：分娩監視装置及び発情発見装置、監視カメラ ・ICT機器導入支援事業費補助金 令和3年度：6件（ドローン2件、操作資格取得講習3件、アシストスーツ1件）		

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	B		
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところ が大きい。農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳 産出額の減少によるものと思われる。		
課題	ICT機器は、改良のスピードが速く次々と新機種が販売され、また、導入コストもかかるため、積極的に導 入する農業者が少ない。		
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）		
	担い手不足の解消のためには、生産性向上につながるスマート機器の導入が必要不可欠であり、本市農業に適 したICT機器を検証し、農業のスマート化が進むよう導入を支援していく。		
令和5年 度事業計 画	・先端農業技術活用実証業務委託 ・ICT機器導入支援事業費補助金		
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較		
備考			

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	14	基本目標	1	分野	農業	担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
6・1・3	農商工連携活性化プロジェクト事業				1,684 千円	1,451 千円	2,641 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶2_付加価値の向上と効率化

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農業・商業・工業・観光関係者間での連携の構築・強化をし、本市での地域農業と関連産業の活性化促進のための協議・研究を行い、地産地消と館林ブランド化の推進に向けた課題解決・方策等の検証を行う。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①農商工連携活性化プロジェクト事業【重要事業】</p> <p>○フードシェッドプロジェクト支援業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フードシェッドプロジェクト支援業務委託</li> <li>農商工連携や地産地消に向けた調査・分析、会議等のコーディネート業務を委託し、異業種間の協力体制を強化する。</li> <li>・たてばやしブランド化加工品実証業務委託</li> <li>市内で生産した小麦「きぬの波」を使用した商品化の実証実験により館林ブランド化の推進を図る。</li> </ul> <p>○農産物加工商品化支援事業費補助金</p> <p>農商工連携や6次産業化に取り組む者に対し、農産物の加工に要する機械・設備の導入にかかる経費について、その経費の一部を補助する。</p>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①農商工連携活性化プロジェクト事業【重】 ・フードシェッドプロジェクト支援業務委託 ・農産物加工商品化支援事業費補助金	①農商工連携活性化プロジェクト事業【重】 ・フードシェッドプロジェクト支援業務委託 ・農産物加工商品化支援事業費補助金	①農商工連携活性化プロジェクト事業【重】 ・フードシェッドプロジェクト支援業務委託 ・農産物加工商品化支援事業費補助金
	事業費	2,641	2,641	2,641
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,641	2,641	2,641

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5				
総合計画 指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	2,641 千円	令和3年度決算額	2,098 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■農商工連携活性化プロジェクト事業【重要事業】 ○フードシェッドプロジェクト 令和3年度までの活動実績（交流会：3回、個別意見交換12団体、ミニマルシェ2回） ○農産物加工商品化支援事業費補助金 令和元年度 冷凍庫、ワインセラー 令和2年度 真空包装機、テーブル型冷蔵庫、ガステーブル、ブレンダー、真空包装機、シーラー 令和3年度 冷凍ショーケース、冷蔵ショーケース、真空包装機		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B		
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところ が大きい。農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳 産出額の減少によるものと思われる。		
課題	生産部門である1次産業に注力する生産者が多く、農産物の付加価値を高める6次産業化が進んでいない。		
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）		
	農作物の高付加価値化を更に進めるため、商業、工業、観光業などの他産業との連携を図る。		
令和5年 度事業計 画	・フードシェッドプロジェクト支援業務委託 ・農産物加工商品化支援事業費補助金		
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較		
備考			

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	15	基本目標	1	分野	農業	担当部署	農業振興課	土地改良係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
6・1・5	農村地域基盤整備事業				9,790千円	12,875千円	9,953千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	ほ場整備を実施し、農地の大区画化による生産性の向上と農業構造の改善による近代化を進め、担い手への農地集積により、意欲ある経営体が活躍できる環境整備を推進し、効率的かつ安定的な農業経営の確立を図る。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①農村地域基盤整備事業【重要事業】	
・野辺地区	県営計画調査（補償物件調査、区画形状検討、道路規模検討、水利計算、計画平面図作成、概算工事費、経済効果、計画概要書）
・木戸地区	県営計画調査（補償物件調査、区画形状検討、道路規模検討、水利計算、計画平面図作成、概算工事費、経済効果、計画概要書）
・大島地区	県営計画調査（現地踏査、土壌調査）

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①農村地域基盤整備事業【重】 ・野辺地区 県営計画調査 ・木戸地区 県営計画調査 ・大島地区 県営計画調査	①農村地域基盤整備事業【重】 ・野辺地区 県営計画調査、土地改良区設立 申請 ・木戸地区 県営計画調査 ・大島地区 県営計画調査	①農村地域基盤整備事業【重】 ・野辺地区 換地業務、実施設計 ・木戸地区 県営計画調査、土地改良区設立 申請 ・大島地区 県営計画調査
	事業費	9,953	19,673	23,150
財源	国庫	0	2,519	2,500
	県費	0	1,007	1,000
	市債	0	0	3,330
	その他	0	0	0
	一般財源	9,953	16,147	16,320

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5				
総合計画 指標	農用地利用集積面積	840	目標値	900	930	960	990	1,020
		単位：ha	実績値	925				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	9,953千円	令和3年度決算額	6,911千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■ 農村地域基盤整備事業 令和元年度 県営計画調査申請（野辺地区、木戸地区、大島地区） 令和2年度 県営計画調査（野辺地区、木戸地区） 令和3年度 県営計画調査（野辺地区、木戸地区、大島地区）			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。農用地利用集積面積は、年度目標を上回っている。各指標の達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。					
課題	県営事業となるため、人員、予算等調整が必要となる。事業化後には法手続き、換地作業、土地改良区運営等の膨大な業務量に対し、迅速に処理する必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	ほ場整備事業を契機とし、生産コストの低減を図る農地の大区画化、所得向上を目指した高収益作物への転換を可能とする水田の汎用化・畑地化を実施。また、担い手への農地集積を後押しし、担い手の経営体質強化を図り競争力を高め、効率的かつ安定的な農業経営の確立を図るため事業を継続する。					
令和5年度事業計画	・野辺地区 換地業務、実施設計 ・木戸地区 県営計画調査、地区界測量、経営体育成促進換地等調整、土地改良区設立申請等法手続き ・大島地区 県営計画調査					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	16	基本目標	2	分野	観光	担当部署	文化振興課	日本遺産推進係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
2・1・1	日本遺産推進事業				32,123千円	29,604千円	31,032千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち ▶Ⅳ_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶15_地域の歴史や伝統・芸術や文化に誇りを持ち、魅力ある文化を育み、心豊かに暮らせるまちになる ▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶6_日本遺産を活用した地域の魅力発信や環境整備 ▶1_観光資源の創出と活用

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市に存在する文化・歴史と観光・産業等を融合させ、令和元年度文化庁日本遺産に認定された「里沼(SATO-NUMA)」を地域活性化や外国人インバウンド等の向上につなげる。「里沼」ストーリーと地域に点在する構成文化財のもつ価値・意義を市民に伝えることにより、シビックプライド醸成による地域活性化、観光・インバウンド増加による経済効果を目的とする。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
1. 日本遺産推進事業	
①事業概要：「日本遺産」認定後の推進組織の運営及び、地域活性化計画に位置付けられた各種事業の展開を推進する。歴史や文化財と、本市に存在する観光や産業などを融合させ、郷土愛(シビックプライド)の醸成による地域振興や国内外からの来訪者による交流人口、定住者を含めた関係人口の増加を目指す。	
②事業内容：	
(1)「里沼」の調査・研究・普及・啓発 →(A)調査・研究事業の実施 (B)普及・啓発事業の実施 (C)先進地事例の視察、外部研修会等への参加 (D)展示会・PRイベント等の開催	
(2)里沼シティプロモーション →(A)群馬ダイヤモンドペガサス連携事業 (B)インターネットを活用した情報発信	
2. 「里沼」体感！ワークショップ事業	
①事業概要：「里沼」を活かしたワークショップを具体的に展開し、本市の魅力向上やコト消費の充実につなげる。	
②事業内容：	
(1)「里沼」題材の各種ワークショップの開催 →(A)地域プレイヤーと連携したワークショップ実施	
(2)里沼カヌー・カヤック講座の開講 →(A)(B)里沼カヌー・カヤック講座・体験会実施 (C)城沼水面利用ルール策定・届出制度運用	
(3)体験型プログラム創出を目的とした調査・検討 →(A)新ワークショッププログラム創出のための検討	
3. 日本遺産推進協議会等支援事業	
①事業概要：日本遺産推進事業に同じ (*日本遺産「里沼」地域活性化計画に位置付けた協議会事業[令和元～6年度])	
②事業内容：	
(1)館林市「日本遺産」推進協議会事務局 →(A)館林市「日本遺産」推進協議会の運営 (B)文化庁補助事業の執行 (C)ヌマペーション連絡協議会の運営 (D)推進協議会補助金・貸付金の管理	
(2)経済部局と連携した文化庁補助事業の実施→(A)日本遺産及び「里沼」ロゴ許認可事務 (B)庁内タスクフォース会議への参加と関係課調整	

### 【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	事業費	31,032	26,000	26,000	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		31,032	26,000	26,000	

### 【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	小・中学生における日本遺産「里沼」の認知度	0	目標値	63.0	66.0	68.0	70.0	73.0
		単位：%	実績値	61.6				
活動指標	日本遺産「里沼」関連で開発された商品・サービス数	0	目標値	20	25	28	30	32
		単位：件	実績値	34				
活動指標	日本遺産への協力件数(市民・ガイド団体+民間事業者等)	8	目標値	25	30	32	33	35
		単位：件	実績値	735				
活動指標	観光客入込み数	150	目標値	189	196	200	200	200
		単位：万人	実績値	50				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	31,032 千円	令和3年度決算額	29,280 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>【平成30年度】《文化振興課にて申請事務。6月補正にて商工費⇒総務費へ組替え》平成30年度末までに文化庁(3回)、県(2回)との協議、先進地視察(桐生市・宇都宮市・足利市・行田市)、PR活動・アンケート調査(武鷹館つつじまつり、市民講座等)、ワークショップ(中部公民館歴史散策講座)、異才発掘ROCKETプロジェクトにおける講座等を実施。申請事務を進めるとともに、地域の魅力を掘り起こし、地元住民へ伝える取組みを推進。日本遺産を通じた地域活性化計画(まちづくり計画)も併せて作成。文化財係で進める歴史文化基本構想策定の補助も行う。(平成30年12月策定済)※日本遺産については、平成31年1月23日に文化庁へ申請</p> <p>【平成31年・令和元年度】《引続き文化振興課にて事務実施》4月24日文化庁よりヒアリングが実施され、5月20日「日本遺産」認定。認定に伴い、6月27日館林市「日本遺産」推進協議会を設立。補助金交付決定後、6分野17事業実施。[商工課・つつじのまち観光課・文化振興課]庁内調整会議16回、国県との協議10回、日本遺産「里沼」を普及啓発するためのシンポジウムをはじめとする啓発活動38回、里沼を体感するためのWS活動11回実施。</p> <p>【令和2年度】引続き文化振興課にて事務を行う。新型コロナウイルスの影響により上半期は事業実施が困難であるものの、7月27日第2回館林市「日本遺産」推進協議会、11月に館林市ヌマペーション連絡協議会を開催。文化庁補助金を活用し、人材育成・普及啓発・調査研究・情報発信・活用整備分野における各種事業を展開した。</p> <p>【令和3年度】文化振興課に日本遺産推進係を新設し、企画課が担っていた推進協議会事務局事業を統合。引続き新型コロナウイルスの影響により大規模なイベント・PR活動等は開催できながったが、市単事業及び推進協議会事業を中心に人材育成、普及啓発、調査研究、情報発信、活用整備の各分野での事業を展開した。特に新規事業として、里沼カヌー・カヤック講座や市内小・中学校の総合学習と連携した普及によるシビックプライド醸成に取り組んだ。</p>		

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	日本遺産推進事業は、第6次総合計画において重要事業に位置しており、日本遺産「里沼」認定を通して、本市の文化・歴史を観光・産業と結びつけることで、地域振興へと繋げることができる。また、地元住民が自分たちの地域の魅力を再認識することで、地域活性化や魅力あるまちづくりへの気運の醸成を図ることができる。
課題	(1) 地域活性化を進めるにあたり、事業推進に適した体制づくり・人材確保が必要。 (2) 各種事業展開に向けた庁内における高いレベルでの共通認識(庁内連携)。 (3) 地域で活躍するプレイヤーの発掘・選定・活動支援。 (4) 地域住民が館林市の魅力を再認識できるような機会(普及活動・連携事業)の提供。 (5) 円滑に事業推進できるための予算(推進協議会の原資等)及び人員確保。
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	<p>■文化庁は、令和3年度に日本遺産再審査制度を導入した。認定6年間経過後のストーリー浸透や各種事業展開の継続性、事業推進体制の「自走」など、地域活性化の度合いを検証し、取組みが不十分な場合は「認定取消し」措置が行われる。</p> <p>■本市においては(A)活動者の「自走」(＝行政の資金投入はあるものの、組織運営や事業実施自体はプレイヤーを統括できる人材が担っている状態)と、(B)資金面での「自走」(＝推進体制が将来的に法人化・会社化し、独立採算(一部行政からの資金援助)での組織運営、事業実施ができていない状態)と段階的に区分し、(A)の成果が出つつある状況。令和4～6年度で早期に(A)活動者の「自走」を実現し、段階的に(B)資金面での「自走」への移行に向けた検討に着手したい。</p> <p>■本市においては日本遺産「里沼」に対して①シビックプライド醸成、②ブランディングを主眼として取り組んできたが、収益化が難しく且つ地道な普及活動が鍵を握る①については、引き続き館林市が主体となって普及啓発や人材育成、調査研究分野における下支えを行う必要がある。一方で情報発信や活用整備に関する②は、民間事業者や民間活動者の巻き込みが重要であることから、現在検討が進められている観光協会法人化等の動きと密接に連動させ、日本遺産「里沼」の推進を図っていくことが重要。</p>
令和5年度事業計画	<p>■令和3年度より日本遺産推進係が新設されたが、事業を継続していくための庁内体制(人員配置・予算確保等)整備が必要。日本遺産「里沼」は文化財部局だけでなく、企画部局・経済部局と連携し、全庁的に「里沼」地域活性化計画事業を推進・展開する必要があることから、教育委員会ではなく政策企画部に移して司令塔機能を強化することが重要である。</p> <p>■地域活性化計画に位置付けた16事業(令和元～3年度)→10事業(*統合集約：令和4年度～)を引続き実施しながら、活動指標に掲げた4つのKPIの達成に向けて取り組んでいく。</p>
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	17	基本目標	2	分野	観光	担当部署	つつじのまち観光課	観光振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
7・1・4	観光事業				15,538千円	13,605千円	20,655千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶3_連携によるブランドの発信

### 【事業の目的及び内容】

<b>【Plan】</b> 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の積極的なPR活動と関係機関との連携による誘客活動</li> <li>・観光客の受け入れ体制の整備</li> <li>・「花のまち館林」観光行事の実施</li> <li>・新たな観光資源の掘り起こしと多様化するニーズへの取り組み</li> </ul>
<b>令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）</b>	
<b>○観光事業【重】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光事業の実施（花ハスマつり・桜とこいのぼりの里まつり開催）</li> <li>・駅前観光案内所の運営</li> <li>・貸自転車「ぼんチャリ」事業の運営</li> <li>・観光宣伝看板の設置管理、観光案内印刷物等の作成</li> <li>・Tatebayashi Webフォトコンテストの開催</li> <li>・友好都市との交流事業</li> <li>・インバウンド対策事業</li> <li>・アニメツーリズム推進事業（宇宙よりも遠い場所の活用事業）</li> </ul>	
<b>○駅前観光案内所運営事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前観光案内所の運営</li> <li>・東口ロータリーから館林東西駅前広場連絡通路内に移転</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①観光事業【重】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光事業の実施</li> <li>・貸自転車事業の運営</li> <li>・観光案内印刷物等の作成</li> <li>・観光宣伝看板の設置管理</li> <li>・友好都市との交流事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観光事業【重】</li> <li>・観光事業の実施</li> <li>・貸自転車事業の運営</li> <li>・観光案内印刷物等の作成</li> <li>・観光宣伝看板の設置管理</li> <li>・友好都市との交流事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観光事業【重】</li> <li>・観光事業の実施</li> <li>・貸自転車事業の運営</li> <li>・観光案内印刷物等の作成</li> <li>・観光宣伝看板の設置管理</li> <li>・友好都市との交流事業</li> </ul>
	②駅前観光案内所運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内所の運営</li> <li>・観光案内所の移転</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>②館林駅観光案内所運営事業</li> <li>・観光案内所の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>②館林駅観光案内所運営事業</li> <li>・観光案内所の運営</li> </ul>
事業費		14,207	16,788	14,207
財源	国庫	1,000	1,000	1,000
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	13,207	15,788	13,207

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	観光客入込数【総合戦略KPIを兼ねる】	目標値	1,541,220	1,567,729	1,594,694	1,622,122	1,650,000
		実績値	553,631				
総合計画 指標	観光ボランティアガイドの登録者数 【総合戦略KPIを兼ねる】	目標値	70	72	75	77	80
		実績値	56				
総合戦略 KPI	つつじまつり入園者数	目標値	65,000	78,000	93,600	112,320	134,784
		実績値	62,283				
活動指標	観光案内人数	目標値	5,506	6,332	7,282	8,374	9,630
		実績値	6,111				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	20,655千円	令和3年度決算額	18,439千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①自転車貸出実績 H28:856台、H29:863台、H30:1,176台、R1:1,027台、R2:976台、R3:2,095台 貸出業務は3か所の自転車預所(館林ヒルズホテル、茂林寺、多々良沼)に委託 ②天童市農業まつり縮小により、相互物産交流を実施(うどん、落雁等販売) ③花ハスマつり(R3年度も縮小開催)： 花ハス遊覧船乗船数 H29:5,500人、H30:6,430人、R1:5,425人、R2:2,141人、R3:3,863人 ④放送番組：TVアニメ「宇宙よりも遠い場所」放映協力金、番組内CM作成・放映等。 ⑤桜まつり(R2年度は緊急事態宣言(4/16)後中止)： 観光入込客数 H28:53,600人、H29:61,200人、H30:57,600人、H31:57,600人、R2:17,760人、R3:一人(中止) ⑥こいのぼりの里まつり(R2年度は緊急事態宣言(4/16)後鶴生田川(城町)のみ中止) 観光入込客数 H28:261,400人、H29:266,000人、H30:211,600人、R1:240,400人、R2:102,380人、R3:一人(中止) ⑦ググッとぐんま(群馬デスティネーションキャンペーン)： 通常は都内キャンペーンや商談会実施。R2年度はコロナウイルス感染拡大に伴い中止。 ⑧館林駅前観光案内所運営事業 ・観光案内利用者数 H28:22,223人、H29:12,663人、H30:11,877人、R1:9,364人、R2:4,788人、R3:6,111人		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	①観光客受け入れ体制の充実 ②『日本遺産「里沼」とつつじのまち館林』観光行事の実施 ③アニメツーリズムの推進(TVアニメ「宇宙よりも遠い場所」関連) ④本市のPRのため、広域にわたる観光物産宣伝の実施
課題	①駅前観光案内所の運営方法の検討 ②日本遺産「里沼」を活用した体験型観光の創出及びPR ③TVアニメ「宇宙よりも遠い場所」を活用したアニメツーリズム ④館林市観光協会の法人化に関する研究・検討
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	①館林駅観光案内所の運営方法の検討 ②日本遺産「里沼」を活用した体験型観光の創出及びPR ③TVアニメ「宇宙よりも遠い場所」を活用したアニメツーリズム ④館林市観光協会の法人化に関する研究・検討
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花ハスマつり開催に関すること</li> <li>・放送番組開催に関すること</li> <li>・桜とこいのぼりの里まつり開催に関すること</li> <li>・観光・物産宣伝に関すること</li> <li>・山形県天童市観光物産交流に関すること</li> <li>・つつじが岡公園の宣伝に関すること</li> <li>・旅行商品造成に関すること</li> <li>・つつじまつり式典設営業務委託料</li> <li>・Webフォトコンテスト事業に関すること</li> <li>・里沼体験コンテンツ開催に関すること</li> <li>・館林駅観光案内所の運営に関すること</li> </ul>
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	18	基本目標	2	分野	観光	担当部署	つつじのまち観光課 つつじが岡公園係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
7・1・5	公園管理			78,131千円	64,081千円	89,489千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶1_観光資源の創出と活用

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市の都市公園の中でも歴史ある観光型の公園であり、四季を通して市民をはじめ多くの観光客に安全に安心して利用していただくため、適正に管理すると共に、更なる集客策を追求する。さらに、「つつじまつり」の開催による、入園料等による自主財源の確保及び地元経済の活性化に繋げる。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>○つつじが岡公園管理事業【重】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つつじが岡公園の維持管理業務</li> <li>・つつじが岡公園再整備基本計画の策定</li> <li>・公園設備の保守および点検</li> <li>・つつじまつりの運営</li> <li>・公共施設の利活用</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		○つつじが岡公園管理事業【重】 ・つつじが岡公園の維持管理業務委託履行確認業務の実施 ・公園内建物（総合管理事務所、秋元別邸）の保守及び点検 ・公園内施設や電気設備の保守及び点検 ・公園内高木剪定業務の実施 ・つつじまつり運営 ・公園施設使用許可事務 ・公園再整備計画策定	○つつじが岡公園管理事業【重】 ・つつじが岡公園の維持管理業務委託履行確認業務の実施 ・公園内建物（総合管理事務所、秋元別邸）の保守及び点検 ・公園内施設や電気設備の保守及び点検 ・公園内高木剪定業務の実施 ・つつじまつり運営 ・公園施設使用許可事務 ・公園再整備事業の社会実験	○つつじが岡公園管理事業【重】 ・つつじが岡公園の維持管理業務委託履行確認業務の実施 ・公園内建物（総合管理事務所、秋元別邸）の保守及び点検 ・公園内施設や電気設備の保守及び点検 ・公園内高木剪定業務の実施 ・つつじまつり運営 ・公園施設使用許可事務 ・公園再整備事業の実施
事業費		89,489	89,489	89,489
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	74,353	74,353	74,353
	一般財源	15,136	15,136	15,136

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	つつじまつり入園者数	129,242	目標値	65,000	78,000	93,600	112,320	134,784
		単位：人	実績値	62,283				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	89,489千円	令和3年度決算額	67,876千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ つつじまつり入園者数                      令和元年度：有料人数 91,048人 入園料収入 53,437千円 総入園者数 約129千人                      令和2年度：つつじまつり中止                      令和3年度：有料人数 43,521人 入園料収入 24,724千円 総入園者数 約62千人</li> <li>・ 四季型の充実、インバウンド事業                      令和元年度：正面券売所看板設置(インバウンド)、大徒渉池濾過ポンプ、滅菌機等交換など                      令和2年度：維持管理の業務委託化、旧公園内及び観光案内所放送設備改修工事、AED1台増設、ケヤキ剪定4本                      令和3年度：つつじが岡公園等維持管理業務委託、つつじが岡公園再整備基本計画策定業務委託、樹木管理、園内清掃業務委託</li> </ul>			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	つつじが岡公園は、国指定名勝「躑躅ヶ岡」を有し、本市を代表する観光名所となっている。つつじまつりを中心とした集客力の向上を図るとともに、四季折々の花が楽しめる空間としての魅力増進と、新たなコンテンツの充実により、新規来訪者の獲得など、年間を通じた集客力の向上が求められている。なお、新型コロナウイルスの影響で、令和2年度は「つつじまつり」を中止したが、令和3年度は、規模を縮小し開催した。令和4年度も同様の開催を検討している。					
課題	①つつじまつりの有料入園者数・入園料収入が減少傾向となっている ②体験型観光の充実による通年での誘客が求められている ③新型コロナウイルス感染症対策・来園者の安全安心の確保が求められている					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	年間を通じて老若男女に利用される四季型公園を目指して、園内の物販・飲食の充実を図り、地域住民の日常利用の増加や観光地としての集客力を強化するとともに、里沼のロケーションを活かした心地よい空間の更なる向上を図る。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園施設維持管理の安定化（業務委託の更新）                              ※つつじが岡公園等維持管理業務委託（3か年の長期継続契約：R2.4.1～R5.3.31）</li> <li>・ 公園施設工事、修繕</li> </ul>					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	19	基本目標	2	分野	観光	担当部署	つつじのまち観光課	観光振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
7・1・5	つつじが岡ふれあいセンター運営事業				14,106千円	10,027千円	13,212千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶5_観光資源の保護・保存・育成と普及啓発

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	公園に通年で誘客するための核となる施設として、立体映像等を活用して満開のつつじを体感できる施設「つつじ映像学習館」と観光協会グッズ等を販売する「売店」の運営を行う。また、団体受入も可能とした飲食スペースである「フードコート」を運営する施設管理運営業者と連携して、多くの公園利用者を楽しんでいただくとともに、さらなる魅力向上を図る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○つつじが岡ふれあいセンター運営事業 ・つつじの啓発、学習活動、企画展示（ギャラリー展示など）開催 ・入館料徴収事務、4Dシアター等管理運営及び案内・PR業務 ・日本遺産「里沼」ガイダンスセンターとしての管理運営 ・フードコート施設管理運営業者と公園利用者増へ向けて、協働事業の実施 ・売店運営の充実とアニメツーリズム来訪者へのおもてなし ・施設全体の機械警備、設備機器の保守点検など安全安心な施設管理 ・誘客業務（パンフレット作成など）	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	事業スケジュール	○つつじが岡ふれあいセンター運営事業 ・つつじ映像学習館の運営管理 ・売店及びアニメツーリズム展示の運営管理 ・ギャラリーや展示物の運営管理 ・フードコート施設管理運営業者との連携調整 ・企画展及びイベント事業の開催	○つつじが岡ふれあいセンター運営事業 ・つつじ映像学習館の運営管理 ・売店及びアニメツーリズム展示の運営管理 ・ギャラリーや展示物の運営管理 ・フードコート施設管理運営業者との連携調整 ・企画展及びイベント事業の開催	○つつじが岡ふれあいセンター運営事業 ・つつじ映像学習館の運営管理 ・売店及びアニメツーリズム展示の運営管理 ・ギャラリーや展示物の運営管理 ・フードコート施設管理運営業者との連携調整 ・企画展及びイベント事業の開催	
	事業費	13,212	13,212	13,212	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		4,781	4,781	4,781	
	一般財源	8,431	8,431	8,431	

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	映像学習館の入館者数	目標値	2,300	2,645	3,042	3,498	4,023
		実績値	1,650				
活動指標	ふれあいセンターフードコートの入場者数	目標値	20,000	21,000	22,050	23,153	24,310
		実績値	22,341				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	13,212 千円	令和3年度決算額	11,084 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つつじの啓発、学習活動、企画展示（ギャラリー展示など）開催</li> <li>・入館料徴収事務、4Dシアター等管理運営及び案内・PR業務</li> <li>・日本遺産「里沼」ガイダンスセンターとしての管理運営</li> <li>・フードコート施設管理運営業者と公園利用者増へ向けて、協働事業の実施</li> <li>・売店運営の充実とアニメツーリズム来訪者へのおもてなし</li> <li>・施設全体の機械警備、設備機器の保守点検など安全安心な施設管理</li> <li>・誘客業務（パンフレット作成など）</li> </ul>		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A		
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中
評価根拠	公園に通年で誘客するための核となる施設として、立体映像等を活用して満開のつつじを体感できる施設「つつじ映像学習館」と観光協会グッズ等を販売する「売店」の運営を行う。また、団体受入も可能とした飲食スペースである「フードコート」を運営する施設管理運営業者と連携して、多くの公園利用者を楽しんでいただくとともに、さらなる魅力向上を図る。 都市公園法、館林市公園条例、つつじを愛し保護する条例		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つつじが岡ふれあいセンターでの営業活動を通して、つつじ映像学習館やフードコート・売店の利用促進、入館料・使用料の増加を目指す。</li> <li>・つつじ映像学習館内コンテンツを充実させるために、より魅力的な空間作りを行う。</li> <li>・イベント等を実施するごとに、様々な手段を用いて情報発信し、周知をはかる。</li> <li>・つつじ映像学習館及びつつじが岡公園をより多くの方に認知していただくため、企画展を継続的に実施する。</li> <li>・つつじが岡公園周辺施設と連携し、誘客促進する。</li> <li>・日本遺産「里沼」ガイダンスセンターとしてのコンテンツを充実させる。</li> <li>・新作4D映像の広告宣伝</li> </ul>		
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）		
令和5年度事業計画	年間を通して誘客促進をするため、向井千秋記念子ども科学館との連携を図る。		
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つつじの啓発、学習活動、企画展示（ギャラリー展示など）開催</li> <li>・入館料徴収事務、4Dシアター等管理運営及び案内・PR業務</li> <li>・日本遺産「里沼」ガイダンスセンターとしての管理運営</li> <li>・フードコート施設管理運営業者と公園利用者増へ向けて、協働事業の実施</li> <li>・売店運営の充実とアニメツーリズム来訪者へのおもてなし</li> <li>・施設全体の機械警備、設備機器の保守点検など安全安心な施設管理</li> <li>・向井千秋記念子ども科学館との共通券の販売</li> </ul>		
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較		
備考			

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	20	基本目標	2	分野	まちなのにぎわい	担当部署	企画課	政策推進係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
2・1・6	まちひとしごと創生推進事業				15,488千円	1,483千円	15,915千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
基本目的	▶V_公民連携を推進し地域経営の視点を持つ持続可能なまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策目的	▶29_時代に対応できる自立した持続可能なまちになる
施策の方向	▶1_地方創生施策の推進
施策の方向	▶1_総合計画及び総合戦略の着実な実施

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	急激な少子高齢化の進展に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京への人口一極集中を是正し、持続可能な社会形成を行うために、第2期総合戦略に基づき、各施策を着実に実施する。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①まちひとしごと創生推進事業【重要事業】
- ・第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証を行う。
  - ・ふるさと回帰支援センターや群馬県等と連携し、移住相談会を実施するなど、U I Jターンのための情報提供を行う。
  - ・各種移住定住施策を推進し、人口減少の緩和と交流人口の拡大を図る。
    - (婚活支援事業補助金)  
男女の出会いの場を提供する事業又は結婚を促進するための事業を行う団体に対し、事業費の一部を補助する。
    - (わくわく地方生活実現支援金)  
地域経済の活性化と移住・定住の促進を図るため、東京圏からの移住者等に対し支援金を支給する。
    - (市有地活用移住定住支援金)  
移住者が市有地を購入し、居住住宅を建設した場合に支援金を支給する。
    - (定住促進通学支援金)  
若者の定住化を促進するため、市内から東京都等に通学する者に対して支援金を支給する。
    - (移住促進まちなか新築住宅取得支援金)  
まちなかの定住人口増加及び活性化のために、まちなかに新たに住宅を取得した者に支援金を支給する。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①まちひとしごと創生推進事業【重】 ・第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証 ・ふるさと回帰支援センターや群馬県等との連携推進 ・各種移住定住施策の推進		①まちひとしごと創生推進事業【重】 ・第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証 ・ふるさと回帰支援センターや群馬県等との連携推進 ・各種移住定住施策の推進	①まちひとしごと創生推進事業【重】 ・第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証 ・ふるさと回帰支援センターや群馬県等との連携推進 ・各種移住定住施策の推進
	事業費	15,915	14,669	14,669
財源	国庫	3,450	3,450	3,450
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	12,465	11,219	11,219

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合戦略 KPI	移住定住の相談人数（累計）	27	目標値	30	60	90	120	150
		単位：人	実績値	27				
総合戦略 KPI	東京都でのPR活動回数（累計）	2	目標値	2	4	6	8	10
		単位：回	実績値	7				
総合戦略 KPI	市の支援による婚活イベント参加者数（累計）	65	目標値	89	178	267	356	445
		単位：人	実績値	0				
総合戦略 KPI	市の支援による婚活事業でのカップル成立数（累計）	5	目標値	10	20	30	40	50
		単位：組	実績値	0				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	15,915千円	令和3年度決算額	5,327千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p><b>【第2期総合戦略の進行管理及び事業検証】</b>                  目標達成に向け順調に推移している指標割合                  令和元年度：51.6% 令和2年度：46.4% 令和3年度：143.6%                  ※令和元年度及び2年度は、第1期総合戦略の実績。</p> <p>各種移住定住施策</p> <p><b>【令和3年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活支援事業補助金 1件 159,170円 ・わくわく地方生活実現支援金 3件 1,800,000円</li> <li>・市有地活用移住定住支援金 1件 500,000円 ・定住促進通学支援金 115件 2,245,330円</li> <li>・移住促進まちなか新築住宅取得支援金 1件 450,000円</li> </ul> <p><b>【令和2年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活支援事業補助金 0件 0円 ・わくわく地方生活実現支援金 0件 0円</li> <li>・市有地活用移住定住支援金 0件 0円 ・定住促進通学支援金 46件 893,000円</li> </ul> <p><b>【令和元年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活支援事業補助金 4件 739,130円 ・わくわく地方生活実現支援金 0件 0円</li> <li>・市有地活用移住定住支援金 0件 0円</li> </ul>		

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都でのPR回数や市の支援による婚活イベント参加者数をはじめ、新型コロナウイルス感染症の拡大により実績に影響が出たものが多い。</li> <li>・一方で、定住促進通学支援金については、PRを強化し、通学を再開した学生が増えたことから件数が大きく伸びている。</li> <li>・わくわく地方生活実現支援金（移住支援金）についても、地方移住への関心の高まりや制度の浸透などにより、申請及び問い合わせ件数も増えてきている。</li> </ul>
課題	移住支援全般について、現在は新型コロナウイルス感染症の影響により非対面でのイベントが主流となっている。以前までは東京都内で群馬県全体の相談会を開催するなど、群馬県への移住に興味がある方を広くターゲットとできたが、オンラインの場合は対面イベントと比べて参加のハードルが高く、また個々の市町村の知名度などが求められる。また、結婚支援に関しても同様に、対面での開催が難しく、非対面（オンライン）への対応が必要不可欠だと思われる。
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	地方創生（まち・ひと・しごと総合戦略の推進）は、人口減少対策を目的としており、持続可能なまちづくりのために必要不可欠な事業である。他市町と同様の施策を実施していても、本市への移住者の増加は見込めないことから、本市の優位性を生かした施策を検討しなければならない。このため、既存事業の効果検証を行い、常に事業の改善を図る必要がある。
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合戦略の進捗管理</li> <li>・移住関連イベントの実施</li> <li>・各種移住定住施策の実施</li> <li>・移住コーディネーターとの協働による情報発信</li> <li>・婚活事業の支援</li> </ul>
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	21	基本目標	2	分野	まちなぎわい	担当部署	商工課 商業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
7・1・2	創業支援事業				8,188 千円	2,067 千円	7,910 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶2_アントレプレナーの発掘・育成と遊休不動産の活用
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	創業に興味のある方や創業しようと考えている方が、新しく事業を起こし、事業を継続することができるために、創業の段階に応じた支援を行い、空き店舗などの遊休不動産の活用や雇用の創出に繋げる。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①創業塾開催 ・基本編（単発講座、年2回） ・応用編（5回連続講座、年1回） ②創業支援補助金 ・設備費補助（改装・設備費） ③店舗診断 ④創業なんでも相談会 たてばやし創業ネットワーク（日本政策金融公庫前橋支店、群馬県信用保証協会太田支部、館林信用金庫、関東信越税理士会館林支部、群馬県社会保険労務士会太田支部、群馬県行政書士会、群馬県中小企業診断士協会、館林商工会議所、Tatebayashi West Farm Market、館林市） ⑤会社設立支援補助 ⑥チャレンジショップ整備	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	事業費	7,910	8,330	8,330
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	115	483	483
	一般財源	7,795	7,847	7,847

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	遊休不動産の利活用件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	目標値	3	6	9	12	15
		実績値	4				
総合計画 指標	【市民アンケート】商工業（経営改善、跡取り、担い手など）の振興の満足度	目標値	-	9.7	-	-	12.7
		実績値	-				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	7,910 千円	令和3年度決算額	6,257 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■遊休不動産の利活用件数 令和3年度までの累計実績 6件 (令和元年度：0件、令和2年度：2件、令和3年度：4件) ①創業塾開催 ・基本編（単発講座、年2回） 令和元年度：年1回(15人)、令和2年度：年1回※オンライン(4人)、令和3年度：年2回(創業塾6人、創業カフェ6人) ・応用編（5回連続講座、年1回） 令和元年度：年1回(6人)、令和2年度：年1回(6人)、令和3年度：年1回(7人) ・応用編受講後創業した人数 令和元年度：一人、令和2年度：2人、令和3年度：3人 ②創業支援補助金 ・設備費補助（改装・設備費） 令和元年度：0件、令和2年度：2件、令和3年度：1件 ③店舗診断 令和元年度：0件、令和2年度：2件、令和3年度：1件 ④創業なんでも相談会 令和元年度：0件、令和2年度：2件、令和3年度：1件 ⑤会社設立支援補助 令和3年度【新規】2件（株式会社 1件、合同会社 1件） ⑥チャレンジショップ整備		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られている	□ 低	成果が低水準にある
事業の効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	遊休不動産の利活用件数の指標については、計画期間5か年の累計値としての目標値のとおりの実績をあげることができた。					
課題	・創業のあらゆるステージに対応した支援の実施 ・創業経験者による創業支援 ・創業塾修了後の起業支援の継続					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	多様化する創業の形態に対応した創業支援を実施する					
令和5年度事業計画	①創業塾開催 ・基本編（単発講座、年2回）      ・応用編（5回連続講座、年1回） ②創業支援補助金 ・設備費補助（改装・設備費） ③店舗診断 ④創業なんでも相談会 たてばやし創業ネットワーク（日本政策金融公庫前橋支店、群馬県信用保証協会太田支部、館林信用金庫、関東信越税理士会館林支部、群馬県社会保険労務士会太田支部、群馬県行政書士会、群馬県中小企業診断士協会、館林商工会議所、Tatebayashi West Farm Market、館林市） ⑤会社設立支援補助 ⑥チャレンジショップ管理運営					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小      ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	22	基本目標	2	分野	まちなぎわい	担当部署	商工課 商業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
7・1・2	たてばやし商業支援事業				8,934 千円	5,213 千円	8,417 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策目的	▶22_人が集まり市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶2_アントレプレナーの発掘・育成と遊休不動産の活用
	▶3_経営の支援
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	事業者の稼ぐ力や遊休不動産の活用によるエリアの価値、「食」を資源とした地域のブランディングなど、公民連携により、地域の価値を高める事業を実施する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①商店店舗診断	
②リノベーションまちづくり事業 「わたしたちの月3万円ビジネス」開催 ・体験ワークショップ 1回 ・講座（全6回） ※最終回にマルシェ出店	
③たてばやしグルメ地域ブランディング事業 「百年小麦」ブランディング委員会 ・公式ホームページの運用 ・「百年小麦」生産収穫体験 ・「百年小麦」食育事業 ・「百年小麦」販売促進 ・「百年饅頭」給食導入	

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業	・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業	・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業
	事業費	8,417	8,417	8,417
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	180	180	180
	一般財源	8,237	8,237	8,237

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	小売業・卸売業の1店舗当たりの年間商品販売額	337	目標値	-	338	339	339	340
		単位：百万円	実績値	-				
総合計画 指標	遊休不動産の利活用件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	2	目標値	3	6	9	12	15
		単位：	実績値	4				
総合計画 指標	【市民アンケート】買物(商店、スーパーなど)の の利便さ、まちなかのにぎわい満足度	28.5	目標値	-	31.5	-	-	34.5
		単位：%	実績値	-				
総合計画 指標	【市民アンケート】商工業(経営改善、 跡取り、担い手など)の振興の満足度	6.7	目標値	-	9.7	-	-	12.7
		単位：%	実績値	-				
総合計画 指標	既存商店店舗診断の件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	2	目標値	3	6	9	12	15
		単位：件	実績値	1				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	8,417 千円	令和3年度決算額	4,277 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■遊休不動産の利活用件数 令和3年度までの累計実績 6件 (令和元年度：0件、令和2年度：2件、令和3年度：4件)  ■既存商店店舗診断 令和3年度までの累計実績 3件 (令和元年度：2件、令和2年度：0件、令和3年度：1件)		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B			
事業の 必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中 □ 低	政策の推進に寄与している事業である 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中 □ 低	適切な成果が得られている 成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中 □ 低	適切な費用対効果が得られている 費用対効果が低水準にある
評価根拠	遊休不動産の利活用件数の指標については、計画期間5か年の累計値としての目標値とおりの実績をあげることができた。 既存商店店舗診断の指標については、計画期間5か年の累計値としての目標値を実績値が下回った。原因としては、コロナ禍により、商店主が中小企業診断士の店舗訪問及び3回の面談に対して抵抗感を持ったことなどが考えられる。			
課題	・遊休不動産の利活用件数の増加 ・既存商店への店舗診断の実施による経営改善、事業継続、魅力ある商品の・サービスの提供による売り上げ増加			
【Action】 今後の 方向性 ・内容	■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)			
令和5年度事業計画	・リノベーションまちづくりの推進によって、遊休不動産を利活用する人材の育成とまちなかのにぎわい満足度の向上 ・商店店舗診断の実施による年間商品販売額の増加と商工業(経営改善、跡取り、担い手など)の振興の満足度向上 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業による「百年小麦」を核とした商品の付加価値向上			
令和5年度事業計画	①商店店舗診断 ②リノベーションまちづくり事業 「わたしたちの月3万円ビジネス」開催 ・体験ワークショップ 1回 ・講座(全6回) ※最終回にマルシェ出店 ③たてばやしグルメ地域ブランディング事業 「百年小麦」ブランディング委員会 ・公式ホームページの運用 ・「百年小麦」生産収穫体験、食育事業、販売促進、給食導入			
予算規模 見込み	■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小 ※前年度比較			
備考				

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	23	基本目標	2	分野	まちなのにぎわい	担当部署	商工課 商業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
7・1・2	まちなか商業活性化事業				6,237 千円	2,068 千円	5,493 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	中心市街地における駐車場の確保、商店街や商工会議所などが主体となったイベントへの助成などにより、便利で快適な市民生活を確保する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○市営駐車場設置（大手町市営駐車場、下町市営駐車場※用地賃借）</li> <li>○初市開催負担金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催：商店街連合会、商工会議所、館林市</li> <li>・起源：明治15年頃</li> </ul> </li> <li>○七夕まつり開催負担金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催：たてばやし七夕まつり実行委員会（5商店街、商工会議所、会議所青年部、青年会議所、館林市）</li> <li>・起源：明治中期</li> </ul> </li> <li>○商店街環境改善事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容：プランター設置等による街路装飾事業に対する補助</li> <li>・積算根拠：事業費の1/3補助（館林市商店街等活性化事業助成要綱）</li> </ul> </li> <li>○商店街活性化事業費助成金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容：商店街、商店街連合会等が行う研修やイベントを補助し、市商業の発展に寄与する。</li> <li>・積算根拠：事業費の1/3補助（館林市商店街等活性化事業助成要綱）</li> </ul> </li> <li>○まちづくり総合支援事業助成金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容：商業及び近隣商業地域に設置してあり、商店街又は街路灯維持管理団体が管理している街路灯への補助。</li> <li>・積算根拠：電気料1年分（9月分×12か月分）の30%を補助</li> </ul> </li> <li>○まちなかフェス開催委託 <ul style="list-style-type: none"> <li>交流人口の拡大と公共空間を利活用して官民連携のフェスを開催する。</li> </ul> </li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営駐車場用地確保</li> <li>・初市開催負担金</li> <li>・七夕まつり開催負担金</li> <li>・商店街環境改善事業費補助金</li> <li>・商店街活性化事業費助成金</li> <li>商店街連合会、5商店街事業補助</li> <li>グルメ総選挙開催補助</li> <li>まちゼミ開催補助</li> <li>・まちづくり総合支援事業助成金</li> <li>・まちなかフェス開催委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営駐車場用地確保</li> <li>・初市開催負担金</li> <li>・七夕まつり開催負担金</li> <li>・商店街環境改善事業費補助金</li> <li>・商店街活性化事業費助成金</li> <li>商店街連合会、5商店街事業補助</li> <li>グルメ総選挙開催補助</li> <li>まちゼミ開催補助</li> <li>・まちづくり総合支援事業助成金</li> <li>・まちなかフェス開催委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営駐車場用地確保</li> <li>・初市開催負担金</li> <li>・七夕まつり開催負担金</li> <li>・商店街環境改善事業費補助金</li> <li>・商店街活性化事業費助成金</li> <li>商店街連合会、5商店街事業補助</li> <li>グルメ総選挙開催補助</li> <li>まちゼミ開催補助</li> <li>・まちづくり総合支援事業助成金</li> <li>・まちなかフェス開催委託</li> </ul>
	事業費	5,493	5,493	5,493
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,493	5,493	5,493

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画指標	【市民アンケート】買物(商店、スーパーなど)の の便利さ、まちなかのにぎわい満足度	28.5	目標値	-	31.5	-	-	34.5
		単位：%	実績値	-				
			目標値					
		単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	4,493千円	令和3年度決算額	3,245千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①初市開催（来場者数） 令和元年度：38,000人、令和2年度：5,000人、令和3年度：5,000人 ②七夕まつり開催（来場者数） 令和元年度：35,000人、令和2年度：中止、令和3年度：中止 ③まちなかフェス開催委託 「つなぐ・まちなかフェスinたてばやし」開催（来場者数） 令和2年度：コロナ禍により未開催、令和3年度：7,500人 ④麵-1グランプリin館林 来場者数 令和元年度：70,000人 令和2年度：開催中止 令和3年度：開催中止 参加店舗 令和元年度：42店舗 売上金額 令和元年度：13,251千円 ⑤館林まちゼミ 参加店 令和元年度：27店舗、37講座、令和2年度：開催中止、令和3年度：開催中止 ⑥グルメ総選挙 ・激辛・激甘・激冷グルメ総選挙 ※R02から「家でも店でも楽しめるグルメ総選挙」へ移行 参加店数 令和元年度：35店舗、41メニュー（激辛23、激甘7、激冷11） ・家でも店でも楽しめるグルメ総選挙 参加店数 令和2年度：40店舗、40メニュー 令和3年度：42店舗、42メニュー ⑦まちづくり総合支援事業助成金（街路灯電気料補助） 令和元年度：407千円（8団体205基）、令和2年度：413千円（8団体205基）、令和3年度：364千円（8団体203基）		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	-
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントによるまちなかへの集客が困難な状況の中、グルメ総選挙や官民連と公共空間の利活用をテーマにした「つなぐ・まちなかフェスinたてばやし」を開催することができた。 一方、中央通り線の拡幅工事の進捗に反比例して、商店数が減少しており、買物（商店、スーパーなど）の利便さ、まちなかのにぎわい満足度が得られにくい状況になっている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央通り線拡幅事業により減少した商業活動の再生</li> <li>・イベント開催における新型コロナウイルス感染症の拡大防止策</li> <li>・商店街の再編</li> </ul>
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央通り線沿線の商業活動再生施策</li> <li>・商店街環境改善事業費補助金及び商店街活性化事業費助成金によるまちなかのにぎわい満足度の向上</li> </ul>
令和5年度事業計画	①中央通り線出店促進事業 ②市営駐車場設置（大手町市営駐車場、下町市営駐車場※用地賃借） ③初市開催負担金 ④七夕まつり開催負担金 ⑤商店街環境改善事業費補助金 ⑥商店街活性化事業費助成金 ⑦まちづくり総合支援事業助成金 ⑧まちなかフェス開催委託
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	24	基本目標	2	分野	まちなぎわい	担当部署	都市計画課 施設計画係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
8・4・2	中央通り線道路改良事業				1,185,077 千円	1,444,181 千円	830,421 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶6_ウォーカブルなまちづくりの推進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市の中心部を南北に通る骨格軸であり、近隣コミュニティ相互の連携を強化し、歩行者の安全な通行を確保するため道路整備を実施。群馬県の一次緊急輸送道路に指定されており、電線類の地中化により、災害時の通行路を確保するとともに都市景観の向上を図る。 事業期間：平成28年度～令和11年度 中央通り線 560m、大手町大街道線 220m
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
平成29年度	用地測量、建物等補償調査
平成30年度	用地買収 A= 376.31㎡
令和元年度	用地買収 A= 357.08㎡
令和2年度	用地買収 A=1,674.71㎡
令和3年度	用地買収 A= 462.24㎡

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	【中央通り線用地買収業務の受託】	・用地買収 A= 462.24㎡ ・次年度以降の用地交渉	【中央通り線用地買収業務の受託】	【中央通り線用地買収業務の受託】
			・用地買収 A= 2,259.0㎡ ・次年度以降の用地交渉	・用地買収 ・次年度以降の用地交渉
事業費		830,421	762,611	762,611
財源	国庫	0	0	0
	県費	715,750	644,175	644,175
	市債	113,400	113,400	113,400
	その他	0	0	0
	一般財源	1,271	5,036	5,036

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	都市計画道路の整備率	64.4	目標値	-	-	-	-	65.2
		単位：%	実績値	-	-	-	-	-
活動指標	都市計画道路の整備延長	39.37	目標値	-	-	-	-	39.87
		単位：km	実績値	-	-	-	-	-
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

<b>令和3年度予算額</b>	830,421 千円	<b>令和3年度決算額</b>	630,633 千円	
<b>【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年</b>	令和元年度以前	用地買収 A=	376.31 m <sup>2</sup>	
	令和元年度	用地買収 A=	357.08 m <sup>2</sup>	
	令和2年度	用地買収 A=	1,674.71 m <sup>2</sup>	
	令和3年度	用地買収 A=	492.37 m <sup>2</sup>	
	合計	用地買収 A=	2,900.47 m <sup>2</sup>	全体進捗 約 46.55% (6,230.74 m <sup>2</sup> )

### 【事業の評価】

<b>【Check】 指標評価</b>	-
<b>事業の 必要性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
<b>事業の 有効性</b>	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
<b>事業の 効率性</b>	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
<b>評価根拠</b>	計画的に用地の取得が行えていることで段階的であるが拡幅工事も計画されている。 令和11年度の工事完成向け都市計画道路の整備率、都市計画道路の整備延長の増進が図れている。
<b>課題</b>	権利者の再建計画や事業理解を得て、早期の工事着手に向けた用地取得が課題である。
<b>【Action】 今後の 方向性 ・内容</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	工事着手が可能となるよう連続した区間の土地取得を進める。
<b>令和5年 度事業計 画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地の取得交渉</li> <li>・群馬県による埋蔵文化財調査や電線共同溝工事を予定</li> </ul>
<b>予算規模 見込み</b>	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小         ※前年度比較
<b>備考</b>	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	25	基本目標	2	分野	まちなのにぎわい	担当部署	都市計画課	都市再生推進係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・4・4	都市再生整備計画事業				4,320千円	2,596千円	4,389千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶6_ウォーカブルなまちづくりの推進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	まちなのにぎわい再生に向け、移住定住などの人口減少対策、商業振興・観光施策及び都市機能をまちなかへ誘導することと併せ、路地を含めた街路空間の利活用により、ウォーカブル（居心地が良く歩きたくなる）なまちなかを形成する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市再生整備計画の作成【重要事業】 地域の特性を踏まえ、まちづくりの目標と目標を実現するために実施する各種事業等を記した都市再生整備計画を作成する。</li> <li>・公共空間等利活用に向けた検討【重要事業】 民間の主体的な参加を促す仕組みを検討する。</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		都市再生整備計画の作成【重】 公共空間等利活用に向けた検討【重】	都市再生整備計画の作成【重】 公共空間等利活用に向けた検討【重】	公共空間等利活用に向けた検討【重】
事業費		4,389	9,766	10,000
財源	国庫	0	0	5,000
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	4,389	9,766	5,000

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	居住誘導区域の人口密度【平成27年度】	39	目標値	-	-	-	-	39
		人/ha	実績値	-				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	4,389 千円	令和3年度決算額	4,005 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■ 令和3年度実績 ・都市再生整備計画の作成 ・つなぐ・まちなかフェス in たてばやしの実施 ・館林駅東口駅前広場でのミチカツ社会実験の実施		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	-
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	これまで、なかなか進まなかったまちなか活性化であるが、既に始まった人口減少・少子高齢化の時代に対応した持続するまちづくりを推進していくため、事業を検討、展開していく必要がある。
課題	官民が連携して特定エリアの価値向上に取り組んでいくための体制づくりを検討する必要がある。
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	引き続き、事業の検討や見直しを行い、展開していく。
令和5年 度事業計 画	公共空間等利活用に向けた検討及び実施
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	26	基本目標	2	分野	まちなぎわい	担当部署	企画課	政策推進係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・6・1	空家対策事業				2,373 千円	1,363 千円	3,255千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
	▶25_快適な居住環境で暮らしやすいまちになる
施策の方向	▶7_健全な市街地の形成
	▶2_健全な市街地の形成

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	年々増加する空き家の問題に対し、購入費用または家賃の助成等の支援をし、居住可能な空き家の利活用を図るとともに移住者・定住者の増加を目指す。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①空家利活用事業【重要事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空家利活用助成金 市内市外の方を問わず、市内の空き家を自ら居住する目的で購入または賃借した場合に、購入費用の一部または家賃の一部を助成する。また貸主に対しても維持管理費用の一部として助成金を交付し、空き家利活用促進のために、空き家バンク登録者に対しても、登録助成金を支給する。</li> <li>・空き家情報登録制度（空き家バンク） 「空き家情報登録制度」を設け、移住・定住を希望しているかたや、空き家を利活用したいかたに市内の空き家情報を提供する。</li> </ul>
----------------	--

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①空家利活用事業【重】 ・空き家利活用助成金 ・空き家情報登録制度（空き家バンク）		①空家利活用事業【重】 ・空き家利活用助成金 ・空き家情報登録制度（空き家バンク）	①空家利活用事業【重】 ・空き家利活用助成金 ・空き家情報登録制度（空き家バンク）
	事業費	3,255	3,257	3,257
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,255	3,257	3,257

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	空き家バンク登録物件利活用件数（累計）	目標値	4	8	12	16	20
		実績値	6				
活動指標	空き家バンク登録物件数（累計）	目標値	7	14	21	28	35
		実績値	5				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	3,255 千円	令和3年度決算額	1,561 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空き家バンク登録物件                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度～令和3年度の累計実績 18件</li> <li>内訳（令和元年度：6件 令和2年度：7件 令和3年度：5件）</li> </ul> </li> <li>■ 空き家バンク利用希望者数                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度～令和3年度の累計実績 13人</li> <li>内訳（令和元年度：2人 令和2年度：8人 令和3年度：3人）</li> </ul> </li> <li>■ 空き家利活用助成金                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度～令和3年度の累計実績 17件</li> <li>内訳（令和元年度：2件、令和2年度：6件、令和3年度：9件）</li> <li>※令和3年度については、登録助成金3件含む。</li> </ul> </li> </ul>			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	■ 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	□ 中	政策の推進に寄与 している事業であ る	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得ら れている	□ 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水 準にある	□ 中	適切な費用対効果 が得られている	■ 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	空き家バンク登録物件利活用件数については目標値を上回っている一方、空き家バンク登録物件数は下回る結果となった。過去の記録を整理すると、相談事業者を介した物件は利活用につながる傾向があることが分かる。 また、令和3年度については、空き家バンク利用希望者数も減少している。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家所有者の意向把握</li> <li>・ 空き家バンク認知度の向上、登録物件の増加</li> <li>・ 相談事業者との連携</li> </ul>					
【Action】 今後の 方向性 ・ 内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	年々空家件数は増加しており、周辺住民や地域へ悪影響を与える空家になる前の段階で、空き家バンクの利活用等により継続して課題解決を図る必要がある。 本市の空き家バンク登録物件数については、県内他市と比べても少ないことが分かっているため、相談事業者と連携しながら、まずは物件数及び利用希望者の増加から取り組んでいく。					
令和5年 度事業計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家購入への助成</li> <li>・ 空き家賃貸借への助成</li> <li>・ 空家登録者への助成</li> <li>・ 空き家バンクの拡充</li> <li>・ 空き家見学会の実施</li> </ul>					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	27	基本目標	2	分野	情報の共有	担当部署	秘書課	広聴広報係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
2・1・2	広聴広報事業				33,890 千円	24,316千円	34,976 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶V_公民連携を推進し地域経営の視点を持つ持続可能なまち
施策目的	▶30_市政の透明性を高め、誰もがまちへの愛着と誇りのあるまちになる
施策の方向	▶1_市政情報の提供と共有

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	広報紙やホームページ、Twitter、YouTube等の各種媒体を活用して、市政に関する情報や市の事業、イベント等に関する情報を発信することで、市政への理解を深めてもらうとともに、市民参加によるまちづくりを推進する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①広聴広報事業【重要事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙発行：毎月1日・15日（1月15日、5月1日及び8月15日を除く年21回）</li> <li>・くらしのこよみ（カレンダー）発行</li> <li>・広報写真展開催</li> </ul> <p>②非核平和事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平和のためのパネル展開催</li> <li>・中学2年生を対象とした非核平和啓発作文募集及び優秀作文集の作成配付</li> </ul> <p>③ホームページ事業【重要事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市公式ホームページの管理運用</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①広聴広報事業【重】 ・広報紙発行（年21回） ・くらしのこよみ（カレンダー）発行 ・広報写真展開催 ②非核平和事業 ・パネル展開催 ・啓発作文募集、優秀作文集の作成・配付 ③ホームページ事業【重】 ・市ホームページ管理運用	①広聴広報事業【重】 ・広報紙発行（年12回） ・くらしのこよみ（カレンダー）発行 ・広報写真展開催 ②非核平和事業 ・パネル展開催 ・啓発作文募集、優秀作文集の作成・配付 ③ホームページ事業【重】 ・市ホームページ管理運用	①広聴広報事業【重】 ・広報紙発行（年12回） ・くらしのこよみ（カレンダー）発行 ・広報写真展開催 ②非核平和事業 ・パネル展開催 ・啓発作文募集、優秀作文集の作成・配付 ③ホームページ事業【重】 ・市ホームページ管理運用
事業費		34,976	34,976	34,976
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	1,200	1,200	1,200
	一般財源	33,776	33,776	33,776

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	ホームページへのアクセス数【総合戦略KPIを兼ねる】	2,509,601	目標値	3,011,521	3,262,481	3,513,441	3,764,401	4,015,361
		単位：件	実績値	6,083,703				
総合計画 指標	SNSのフォロワー数【総合戦略KPIを兼ねる】	1,520	目標値	2,520	3,020	3,520	4,020	4,520
		単位：人	実績値	3,721				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	34,976千円	令和3年度決算額	29,445千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①広聴広報事業 ・広報紙発行 令和元年度：22回 29,600部/回（平均ページ数16.6/回） 令和2年度：21回 29,600部/回（平均ページ数17.2/回） 令和3年度：21回 29,600部/回（平均ページ数18.9/回） ・くらしのこよみ（カレンダー）発行 令和元年度：1回、令和2年度：1回、令和3年度：1回 ・広報写真展開催（市役所市民ホールほか） 令和元年度：3か所、令和2年度：2か所、令和3年度：1か所 ②非核平和事業 ・パネル展開催（市役所市民ホール） 令和元年度：1か所、令和2年度：1か所、令和3年度：1か所 ・啓発作文募集、優秀作文集の作成・配付 令和元年度：1回、令和2年度：1回、令和3年度：1回 ③ホームページ事業 ・市ホームページアクセス数 令和元年度：2,509,601件、令和2年度：4,441,102件、令和3年度：6,083,703件 ・市ツイッターフォロワー数 令和元年度：1,520人、令和2年度：3,044人、令和3年度：3,721人			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標については、ホームページへのアクセス数、SNSのフォロワー数ともに年度目標値を上回り、ホーム ページへのアクセス数に関しては、既に令和7年度目標値に達している。要因としては、新型コロナウイルス感 染症に関する情報等、新しい情報を求めるかたからのアクセスや登録が増えたものと考えられる。 広報は市民と行政の情報共有のために必要不可欠なものであり、今後も広報紙やホームページ等の各種媒体を 適切に管理運用していく。					
課題	令和4年度から広報紙の発行回数が月1回に減り、また、広報紙以外の配布物（毎戸・回覧）の削減が図られて いるため、広報紙1号当たりのページ数が増加傾向にある。情報が探しにくくならないように、掲載内容の精査 や読みやすい紙面作りが求められる。その他、市政への理解促進に向けて行ってきた広報写真展は、情報伝達 手段の充実に伴ってその必要性が薄れており、廃止を含め見直しが必要である。 ホームページについては、令和3年度（11月）から各課がページ編集を行い、秘書課が公開を承認するように運 用方法を変更した。各課の編集が円滑に行われるように支援していく必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	必要な人に必要な情報が届くように、広報紙をはじめとして、ホームページやTwitter、YouTube等の多様な媒 体を用い、それぞれの特性を生かして情報を発信していく。情報発信に当たっては、早く、正確な情報の提供 に努める。					
令和5年 度事業計 画	①広聴広報事業 ・広報紙発行：毎月1日（年12回） ・くらしのこよみ（カレンダー）発行 ②非核平和事業 ・パネル展開催 ・啓発作文募集、優秀作文集の作成・配付 ③ホームページ事業 ・市公式ホームページの管理運用					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	28	基本目標	3	分野	まちなのにぎわい	担当部署	企画課	政策推進係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
2・1・6	まちひとしごと創生推進事業				15,488千円	1,483千円	15,915千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶1_地方創生施策の推進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	急激な少子高齢化の進展に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京への人口一極集中を是正し、持続可能な社会形成を行うために、第2期総合戦略に基づき、各施策を着実に実施する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<b>①まちひとしごと創生推進事業【重要事業】</b> ・第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証を行う。 ・ふるさと回帰支援センターや群馬県等と連携し、移住相談会を実施するなど、U I J ターンのための情報提供を行う。 ・各種移住定住施策を推進し、人口減少の緩和と交流人口の拡大を図る。 (婚活支援事業補助金) 男女の出会いの場を提供する事業又は結婚を促進するための事業を行う団体に対し、事業費の一部を補助する。 (わくわく地方生活実現支援金) 地域経済の活性化と移住・定住の促進を図るため、東京圏からの移住者等に対し支援金を支給する。 (市有地活用移住定住支援金) 移住者が市有地を購入し、居住住宅を建設した場合に支援金を支給する。 (定住促進通学支援金) 若者の定住化を促進するため、市内から東京都等に通学する者に対して支援金を支給する。 (移住促進まちなか新築住宅取得支援金) まちなかの定住人口増加及び活性化のために、まちなかに新たに住宅を取得した者に支援金を支給する。	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①まちひとしごと創生推進事業【重】 ・第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証 ・ふるさと回帰支援センターや群馬県等との連携推進 ・各種移住定住施策の推進		①まちひとしごと創生推進事業【重】 ・第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証 ・ふるさと回帰支援センターや群馬県等との連携推進 ・各種移住定住施策の推進	①まちひとしごと創生推進事業【重】 ・第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証 ・ふるさと回帰支援センターや群馬県等との連携推進 ・各種移住定住施策の推進
	事業費	15,915	14,669	14,669
財源	国庫	3,450	3,450	3,450
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	12,465	11,219	11,219

### 【関連する指標】

総合戦略 KPI	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	移住定住の相談人数（累計）	27	目標値	30	60	90	120	150
		単位：人	実績値	27				
総合戦略 KPI	東京都でのPR活動回数（累計）	2	目標値	2	4	6	8	10
		単位：回	実績値	7				
総合戦略 KPI	市の支援による婚活イベント参加者数（累計）	65	目標値	89	178	267	356	445
		単位：人	実績値	0				
総合戦略 KPI	市の支援による婚活事業でのカップル成立数（累計）	5	目標値	10	20	30	40	50
		単位：組	実績値	0				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	15,915千円	令和3年度決算額	5,327千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【第2期総合戦略の進行管理及び事業検証】 目標達成に向け順調に推移している指標割合 令和元年度：51.6% 令和2年度：46.4% 令和3年度：143.6% ※令和元年度及び2年度は、第1期総合戦略の実績。		
各種移住定住施策 【令和3年度】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活支援事業補助金 1件 159,170円</li> <li>・わくわく地方生活実現支援金 3件 1,800,000円</li> <li>・市有地活用移住定住支援金 1件 500,000円</li> <li>・定住促進通学支援金 115件 2,245,330円</li> <li>・移住促進まちなか新築住宅取得支援金 1件 450,000円</li> </ul> 【令和2年度】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活支援事業補助金 0件 0円</li> <li>・わくわく地方生活実現支援金 0件 0円</li> <li>・市有地活用移住定住支援金 0件 0円</li> <li>・定住促進通学支援金 46件 893,000円</li> </ul> 【令和元年度】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活支援事業補助金 4件 739,130円</li> <li>・わくわく地方生活実現支援金 0件 0円</li> <li>・市有地活用移住定住支援金 0件 0円</li> </ul>			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	・東京都でのPR回数や市の支援による婚活イベント参加者数をはじめ、新型コロナウイルス感染症の拡大により実績に影響が出たものが多い。 ・一方で、定住促進通学支援金については、通学を再開した学生が増えたことから件数が大きく伸びている。 ・わくわく地方生活実現支援金（移住支援金）についても、地方移住への関心の高まりや制度の浸透などにより、申請及び問い合わせ件数も増えてきている。
課題	移住支援全般について、現在は新型コロナウイルス感染症の影響により非対面でのイベントが主流となっている。以前までは東京都内で群馬県全体の相談会を開催するなど、群馬県への移住に興味がある方を広くターゲットとできたが、オンラインの場合は対面イベントと比べて参加のハードルが高く、また個々の市町村の知名度などが求められる。また、結婚支援に関しても同様に、対面での開催が難しく、非対面（オンライン）への対応が必要不可欠だと思われる。
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）  地方創生（まち・ひと・しごと総合戦略の推進）は、人口減少対策を目的としており、持続可能なまちづくりのために必要不可欠な事業である。他市町と同様の施策を実施していても、本市への移住者の増加は見込めないことから、本市の優位性を生かした施策を検討しなければならない。このため、既存事業の効果検証を行い、常に事業の改善を図る必要がある。
令和5年度事業計画	・総合戦略の進捗管理 ・移住関連イベントの実施 ・各種移住定住施策の実施 ・移住コーディネーターとの協働による情報発信 ・婚活事業の支援
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	29	基本目標	3	分野	子育て	担当部署	こども福祉課 保育係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・2・1	地域子ども・子育て支援事業				220,423 千円	264,382千円	238,391 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶2_地域子育て支援の推進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	子ども・子育て支援新制度のもと、地域の実情に応じて市が策定した「館林市子ども・子育て支援事業計画」に従って事業を計画的に実施することで、教育・保育・子育て支援の充実を図る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①地域子育て支援拠点事業【重要事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援拠点事業委託料</li> </ul> <p>乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談や情報の提供、助言その他の援助を行う。</p> <p>②病児・病後児保育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病児・病後児保育事業委託料</li> </ul> <p>多様な保育需要に対応するために、集団保育が不可能な病児・病後児の保育を委託により実施する。</p>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①地域子育て支援拠点事業【重】 ・地域子育て支援拠点事業委託料	①地域子育て支援拠点事業【重】 ・地域子育て支援拠点事業委託料	①地域子育て支援拠点事業【重】 ・地域子育て支援拠点事業委託料
		②病児・病後児保育事業 ・病児・病後児保育事業委託料	②病児・病後児保育事業 ・病児・病後児保育事業委託料	②病児・病後児保育事業 ・病児・病後児保育事業委託料
事業費		38,783	38,783	38,783
財源	国庫	12,927	12,927	12,927
	県費	12,927	12,927	12,927
	市債	0	0	0
	その他	1,010	1,010	1,010
	一般財源	11,919	11,919	11,919

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	市内5か所の地域子育て支援センターの 利用登録率	79.4	目標値	81.3	82.2	83.1	84.1	85.0
		単位：%	実績値	66.4				
総合計画 KPI	病児・病後児保育事業の登録者数	227	目標値	286	315	344	374	403
		単位：人	実績値	336				
総合計画 指標	子育て環境（保育施設、相談、交流の 場など）の充実度の満足度	30.1	目標値	-	33.1	-	-	36.1
		単位：%	実績値	-				
			目標値					
			実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	238,391 千円	令和3年度決算額	259,890 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■市内5か所の地域子育て支援センターの利用登録率 ・令和3年度までの平均 71.4% 内訳(令和元年度: 74.9% 令和2年度: 72.9% 令和3年度: 66.4%)  ■病児・病後児保育事業の登録者数 ・令和3年度までの累計実績 938人 内訳(令和元年度: 227人 令和2年度: 375人 令和3年度: 336人)			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られている	□ 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標については、市内5か所の地域子育て支援センターの利用登録率は目標に達しなかったが、病児・病後児保育事業の登録者数は目標を大幅に上回った。地域子育て支援センターの利用登録率が低かったのは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、講座やイベント、サークル中止や利用の制限を実施したためと考えられる。					
課題	■地域子育て支援センター 新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、可能な限り講座を開催するとともに、受け入れ人数の制限を緩和させていく必要がある。 ■病児・病後児保育事業 簡単に登録及び利用ができる環境を整備する必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)					
	■地域子育て支援センター 子育ての中の方が孤立することがないように、利用者同士がつながり合う場を提供することにも、寄り添った支援を行っていく。 ■病児・病後児保育事業 病児保育が必要な方がスムーズに利用できるよう努めていく。					
令和5年 度事業計 画	■地域子育て支援センター 地域子育て支援センター連絡会議で関係機関と連携を図る。 支援センター室と園庭を開放する。 講座やイベント、サークル活動を実施する。  ■病児・病後児保育事業 病児保育事業を継続的に実施する。					
予算規模 見込み	■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小 ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	30	基本目標	3	分野	子育て	担当部署	健康推進課	母子保健係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
4・1・3	母子保健対策事業				67,198千円	56,354千円	67,238千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶1_妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	(1) 母性並びに乳幼児の健康の保持及び増進 不妊治療費助成(一般不妊・特定不妊・男性不妊・不育症に対して治療費助成) 乳幼児健康診査、妊婦健康診査、産婦健康診査、新生児聴覚検査、歯科健康診査 健康相談(公民館健康相談、母乳育児相談、乳幼児発達相談、おひさま広場) 健康教育(ママパパ学級、離乳食教室、離乳食個別講座) 保健指導、家庭訪問、未熟児養育医療給付 (2) 地域における子育て支援の充実 母子保健推進員の育成と活動支援(乳児全戸訪問事業等)
----------------	--

### 令和3年度事業計画(主要な事業とその取組内容)

[健康診査]	4か月児健康診査、10か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査
[訪問指導]	乳幼児訪問指導、妊産婦訪問指導、新生児訪問指導、未熟児訪問指導
[健康相談]	公民館健康相談、乳幼児発達相談、乳幼児健康診査事後相談(おひさま広場)、乳幼児窓口相談、母乳育児相談、母子電話相談
[健康教育]	ママパパ学級、離乳食教室 見て学ぶスタート編、離乳食個別講座
[妊娠届出受理・母子健康手帳交付・妊婦健康診査受診票交付]	妊娠届出受理、母子健康手帳及び妊婦健康診査受診票の交付、問診、セルフプランシート作成、保健事業案内、保健指導
[妊婦健康診査]	第1回から第14回妊婦健康診査費用の一部を助成、医療機関委託
[新生児聴覚検査]	新生児聴覚検査費用の一部を助成、医療機関委託
[産婦健康診査]	産後2週間及び1か月の産婦健康診査費用の一部を助成、医療機関委託
[不妊治療費等助成]	不妊治療に要する費用の一部を助成。一般不妊治療、特定不妊治療、男性不妊治療、不育治療
[母子保健推進員活動]	担当地区の母子に対し健康診査の受診勧奨や育児相談等を行い市とのパイプ役として活動、母子保健事業の協力
[未熟児養育医療給付]	身体発育が未熟で生まれ入院を必要とする1歳未満の乳児に対し、入院治療にかかる医療費等を給付

### 【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	事業費	67,238	66,444	66,444
	国庫	3,493	3,876	3,876
	県費	952	1,082	1,082
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
財源	一般財源	62,793	61,486	61,486

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	妊婦家庭訪問実施率	90.4	目標値	91.4	91.9	92.4	92.9	93.4
		単位：%	実績値	95.1				
総合計画 指標	乳幼児健康診査受診率	98.3	目標値	98.4	98.4	98.4	98.5	98.5
		単位：%	実績値	98.6				
			目標値					
			単位：					
			目標値					
			単位：					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	67,238 千円	令和3年度決算額	59,728 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■妊婦家庭訪問実施率 令和元年度 90.4%、令和2年度 81.1%、令和3年度 95.1 %  ■乳幼児健康診査受診率 令和元年度 98.3%、令和2年度 98.0%、令和3年度 98.6 %		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標については、妊婦家庭訪問、乳幼児健康診査共に目標値を上回っている。 新型コロナウイルス感染症のまん延により、家庭訪問や集団健診を心配する声も聞かれたが、感染症対策の徹底や、警戒度に応じた事業内容の変更等を工夫し実施したことにより高い実施率となったと考えられる。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定妊婦や疾患を持つ妊婦、外国人妊婦等の増加で、支援を必要とする妊産婦が増加している。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化に伴い、親族や友人の支援や情報交換が受けにくい環境により、育児不安を訴える保護者が増加している。</li> <li>・ 発達障害の疑いや虐待等、支援の必要な家庭が増加している。</li> </ul>
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	年々支援を必要とする妊産婦、乳幼児が増加している中、変化する対象者のニーズを把握しながら事業を展開する必要がある。また、関係機関と連携を図りながら虐待予防、療育支援を行う必要がある。
令和5年度事業計画	[健康診査] 4か月児健康診査、10か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査 [訪問指導] 乳幼児・妊産婦・新生児・未熟児訪問指導 [健康相談] 乳幼児発達相談、乳幼児健康診査事後相談(おひさま広場)、乳幼児窓口・母乳育児・母子電話相談 [健康教育] ママパパ学級、離乳食教室 見て学ぶスタート編、離乳食個別講座 [妊娠届出受理・母子健康手帳交付・妊婦健康診査受診票交付] [妊婦健康診査] [新生児聴覚検査] [産婦健康診査] [不妊治療費等助成] 不妊治療に要する費用の一部を助成。
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	31	基本目標	3	分野	子育て	担当部署	健康推進課 母子保健係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
4・1・3	妊娠・出産包括支援事業				21,479千円	16,848千円	21,038千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶1_妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<p>安心して生み育てられるまちになるため、妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援を行うことを目的とする。</p> <p>保健師1名を母子保健コーディネーターとして配置し、様々な機関の関係者との連携・情報の共有を図り、妊娠から子育て期までワンストップで支援を行っている。</p> <p>①「母子保健コーディネーター事業」 ②「産前産後サポート事業」 ③「産後ケア事業」</p>
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

<p>【母子保健コーディネーター事業】 妊産婦に必要な情報提供・関係機関との調整し必要な支援につなぐ、セルフプラン・支援プランの作成、定期的なフォローの実施、多言語音声翻訳アプリを用いた外国人支援</p> <p>【産前産後サポート事業】 妊娠中・生後28日までの全戸訪問事業、産前産後サポーター派遣事業、祖父母教室、子育てサロン、多胎妊産婦交流事業、子育て支援モバイルサービス事業、子育て応援冊子配布事業、双子手帳の交付</p> <p>【産後ケア事業】 出産直後の産婦の健康面の悩みや育児不安などを解消するため、助産師による心身のケアや休養等支援を行う事業（デイサービス型、アウトリーチ型）</p>
---

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール	母子保健コーディネーター事業 産前産後サポート事業 産後ケア事業 【新規】 ・多胎サロン		母子保健コーディネーター事業 産前産後サポート事業 産後ケア事業 多胎サロン 【新規】 ・社会福祉士配置	母子保健コーディネーター事業 産前産後サポート事業 産後ケア事業 多胎サロン 社会福祉士配置
	事業費	21,038	23,764	23,764
財源	国庫	8,196	13,235	13,235
	県費	3,280	2,081	2,081
	市債	0	0	0
	その他	11	33	33
	一般財源	9,551	8,415	8,415

### 【関連する指標】

総合戦略 KPI	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
子育て支援モバイルサービス登録率		61.8	目標値	63.8	64.8	65.8	66.8	67.8
	単位：%		実績値	58.3				
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	21,038 千円	令和3年度決算額	20,322 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■子育て支援モバイルサービス登録率 令和元年度 61.8%、令和2年度 78.5%、令和3年度 58.3 %			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	■ 高	成果が高水準にある	□ 中	適切な成果が得られている	□ 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	■ 高	費用対効果が高水準にある	□ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	年々登録率が増加傾向にあったが、令和3年度については目標値を下回る結果となった。新型コロナウイルス感染症予防対策として、妊娠届出や新生児訪問の面接時間を短縮したため十分な説明ができなかったこと等が、要因として考えられる。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定妊婦や疾患を持つ妊婦、外国人妊婦等の増加で、支援を必要とする妊産婦が増加している。</li> <li>・ 産後ケア事業対象者が産後1年未満に拡大されたが、受け入れる関係機関数が少なく体制が整わない。</li> <li>・ 子育て支援モバイルサービスの登録を各自でお願いすると、仕事や育児等で日々多忙な中で登録に至らない場合が多い。</li> </ul>					
【Action】 今後の 方向性 ・ 内容	■ 継続   □ 拡大   □ 改善   □ 代替   □ 統合   □ 縮小   □ 休止   □ 廃止 (□ 一部廃止)					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年々支援を必要とする妊産婦、乳幼児が増加している中、変化する対象者のニーズを把握しながら事業を展開する必要がある。また、関係機関と連携を図りながら虐待予防、育児支援を行う必要がある。</li> <li>・ 子育て支援モバイルサービスの配信内容がマンネリ化をしないよう、タイムリーに新着及び更新情報を掲載していく必要がある。</li> </ul>					
令和5年 度事業計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母子保健コーディネーター事業</li> <li>・ 産前産後サポート事業</li> <li>・ 産後ケア事業</li> <li>・ 子育てサロン、多胎サロン</li> <li>・ 困難事例に対応する専門職の配置</li> </ul>					
予算規模 見込み	■ 同規模   □ 拡大   □ 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	32	基本目標	4	分野	防災	担当部署	道路河川課 整備係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
8・3・2	幹線排水路整備事業				52,863千円	44,518千円	73,655千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 4_排水施設整備による被害防止

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	雨水の急激な流出・冠水を抑制し、排水機能を強化するため、準用河川・幹線排水路などの排水施設について多角的かつ経済的に整備改修し災害を未然に防ぐ。
----------------	--

#### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①準用河川宮田川整備事業  
護岸・かごマット工 56.4m（第一工区護岸完了）  
今年度にて第一工区流路部（市道2級26号線以東）が概成する。これらの効果もあり、地元複数住民等から冠水被害が軽減した旨の感想があった。このことから来年度出水期の状況を観察・検証したうえで、第二工区を推進する方針とする。
- ②宮田2号幹線排水路整備事業  
搬入路整備 45.7m 試作調整池 232.4m<sup>3</sup>  
完成済の設計結果に基づき、用地買収を進め工事用搬入路を築造中だが、大規模調整池を含む排水路完成までには多大な費用と時間を要する。このことから、上記のとおり小規模調整池試作や既存水路の浚渫を行うなど、比較的安価な方策から実施し効果を見極めたうえで、事業を推進する方針とする。
- ③冠水箇所水路小規模改修事業  
栄町幹線排水路流入改修 1箇所  
完成済の排水路であるが、現流入口が十分には機能しておらず、その結果排水路の能力を完全には発揮できていない。この解消を目指し局部的に改修するもの。また今後も、四つの準用河川・60の幹線排水路について職員が現地を踏査し、状況把握と往々にして複合的なことが多い冠水の原因を見極め、代表的原因について経済的かつ効果的な対策を考案し、これを優先して行い、事後効果を検証するものとする（所謂PDCAサイクル）。その結果被害が軽減或いは解消すればその時点で対策完了とし、不十分な場合は次に経済的かつ効果的な対策をとる方針とする。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	事業費	73,655	58,724	39,000	
	財源	国庫	18,333	10,000	0
		県費	0	0	0
		市債	33,000	27,133	7,600
		その他	0	0	0
	一般財源	22,322	21,591	31,400	

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	準用河川及び幹線排水路の整備率	78.4	目標値	78.5	78.5	78.6	78.7	78.8
		単位：%	実績値	78.5				
活動指標	河川・排水路パトロール（3年に一回） 及び対策マップ作成・更新	-	目標値	-	1	-	-	1
		単位：回	実績値	-				
			目標値					
			実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	73,655 千円	令和3年度決算額	66,330 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	工事 準用河川宮田川：令和元年度…50.2m、令和2年度…56.2m、令和3年度…56.4m（取付部分含む） 宮田2号幹線排水路（搬入路）：令和元年度…104.8m、令和2年度…62.0m、令和3年度…45.7m 用地費 令和元年度…1,840.94㎡、令和2年度…1,124.42㎡、令和3年度…1,579.46㎡		

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	準用河川宮田川は、これまでに河道改修や調整池の設置を行い、豪雨等による宮田川上流域の越水被害を削減している。
課題	宮田川2号幹線排水路は、主要な道路に面していないため、工事車両を目的地まで到達できる搬入路を築造しています。排水路自体の改修や調整池の設置及び搬入路の確保から用地取得が必要であり、用地買収等に時間を要しています。
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	準用河川宮田川は、1級河川谷田川へ放流する宮田川排水機場から市道2級26号線までの河道改修区間を1工区として令和3年度に終了しました。令和4年度に河川管理用道路の舗装工事を行い国庫補助事業を完了させる予定です。宮田2号幹線排水路整備は、用地買収や調整池掘削工事を計画的に実施して参ります。
令和5年度事業計画	宮田2号幹線排水路整備事業 用地買収 搬入路整備・調整池掘削工事
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	33	基本目標	4	分野	防災	担当部署	建築課	住宅施設係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・6・1	空家対策関係				2,855千円	2,233千円	3,855千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策目的	▶02_地域と市が連携して、防犯に取り組む安全安心なまちになる
施策の方向	▶5_総合的な空き家対策の推進
施策の方向	▶3_空き家の適正管理

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	空き家所有者の自発的な空き家除却を促進し、地域の住環境改善を図る。
----------------	-----------------------------------

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

#### 空家対策関係事業【重要事業】

##### ・空き家除却助成金

良好で快適な生活環境の形成を図るために、防災・防犯上危険な空き家を所有する者が、その空き家を除却する場合に、市が除却費用の一部を助成する。

##### ・空き家等の適正管理指導

空き家の周辺住民に影響を及ぼしている空き家所有者等に対し、適切な管理を促すため、情報の提供及び助言等を行うもの。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	空家対策関係事業【重】	3,855	3,855	3,855
	・空き家除却助成金 ・適正管理通知			
事業費				
財源	国庫	900	900	900
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,955	2,955	2,955

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	空き家除却助成金利用件数（累計）	4	目標値	13	26	39	52	65
		単位：件	実績値	17				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	34	基本目標	4	分野	防災	担当部署	建築課 建築指導係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
8・6・2	住宅・建築物耐震改修等事業				2,888千円	554千円	2,588千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 7_災害予防のための環境整備

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	地震による木造住宅及びブロック塀の倒壊等の被害から市民の命と財産を守る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
住宅・建築物耐震改修等事業【重要事業】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅耐震診断者派遣事業 木造住宅耐震診断者による耐震性診断を実施し結果を通知する。</li> <li>・木造住宅耐震改修補助事業 耐震診断の結果、倒壊する可能性がある又は高いと診断された木造住宅について、耐震診断、耐震改修設計及び耐震改修工事を行い、「一応倒壊しない」までの基準に住宅を改修した方に補助金を交付する。</li> <li>・木造住宅耐震シェルター等設置補助事業 耐震診断の結果、倒壊する可能性がある又は高いと診断された木造住宅について、耐震シェルターや耐震ベッドなどの設置により圧死を防ぎ地震被害を軽減する施策を行った方に補助金を交付する。</li> <li>・ブロック塀等撤去費補助事業 道路等に面する危険なブロック塀等を撤去する方に補助金を交付する。</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	住宅・建築物耐震改修等事業【重】		住宅・建築物耐震改修等事業【重】	住宅・建築物耐震改修等事業【重】
	事業費	2,588	2,588	2,588
財源	国庫	1,293	1,293	1,293
	県費	225	225	225
	市債	0	0	0
	その他	397	397	397
	一般財源	673	673	673

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	木造住宅耐震診断戸数	7	目標値	25	25	25	25	25
		単位：戸	実績値	4				
活動指標	木造住宅耐震改修補助戸数	0	目標値	1	1	1	1	1
		単位：戸	実績値	0				
活動指標	木造住宅耐震シェルター等設置補助戸数	0	目標値	1	1	1	1	1
		単位：戸	実績値	0				
活動指標	ブロック塀等撤去費補助件数	2	目標値	10	10	10	10	10
		単位：件	実績値	2				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	2,588 千円	令和3年度決算額	226 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・木造住宅耐震診断者派遣事業 令和3年度： 4件 令和2年度： 16件 令和元年度： 7件	・木造住宅耐震シェルター等設置補助事業 令和3年度： 0件 令和2年度： 0件 令和元年度： 0件	・木造住宅耐震改修補助事業 令和3年度： 0件 令和2年度： 0件 令和元年度： 0件
		・館林市ブロック塀等撤去工事補助事業 令和3年度： 2件 令和2年度： 1件 令和元年度： 2件	

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	大規模地震による被害を減少させるために必要な事業ではあるが、補助件数の実績が伸びない。
課題	耐震改修工事を実施するには多額の費用を要するため、耐震診断を実施しても耐震改修工事までには至らない。
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	令和3年度に策定した「館林市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」に基づき、住宅所有者に対する耐震化普及啓発・補助制度についての案内等を行う。
令和5年 度事業計 画	・木造住宅耐震診断者派遣事業 : 25件 ・木造住宅耐震改修補助事業 : 2件 ・木造住宅耐震シェルター等設置補助事業 : 1件 ・館林市ブロック塀等撤去工事補助事業 : 10件
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	35	基本目標	4	分野	防災	担当部署	安全安心課 危機管理・国土強靱化係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
9・1・4	防災関係				332,183千円	337,582千円	37,955千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 1_防災意識の向上による防災組織の育成

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	・自助・共助・公助が一体となり、防災意識や危機管理対応力の高い災害に強いまちづくりを推進する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<b>①防災関係事業【重要事業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士が地域の自主防災の活性化を支援し、安全・安心なまちづくりに寄与することを側面的に支援していく。</li> <li>・災害に備え、必要な備蓄品等を購入し、防災体制の充実を図る。</li> <li>・平成21年7月27日に発生した竜巻災害を本市防災の教訓として引継ぐため、また、その記憶を風化させないため、「館林市の防災を考える日」事業により、防災意識を高め、災害の未然防止と被害の軽減を図る。</li> <li>・全国瞬時警報システム等の稼働維持を図るとともに、情報伝達手段の多様化を図る。</li> <li>・本市が実施する防災対策の効果を最大限に高めることを目的に、防災対策全般に高度な専門知識と経験を有する専門家を、防災アドバイザーとして選任する。</li> <li>・大規模地震時における出火防止を目的に、感震ブレーカーの普及促進を図る。</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①防災関係事業【重】	①防災関係事業【重】	①防災関係事業【重】	①防災関係事業【重】
	・防災士連絡会補助金	・防災士連絡会補助金	・防災士連絡会補助金	・防災士連絡会補助金
	・防災用倉庫及び備蓄用備品用等の購入	・防災用倉庫及び備蓄用備品用等の購入	・防災用倉庫及び備蓄用備品用等の購入	・防災用倉庫及び備蓄用備品用等の購入
	・「館林市の防災を考える日」事業	・「館林市の防災を考える日」事業	・「館林市の防災を考える日」事業	・「館林市の防災を考える日」事業
	・防災アドバイザー委託	・防災アドバイザー委託	・防災アドバイザー委託	・防災アドバイザー委託
・全国瞬時警報システム等の保守、防災情報伝達システム運用保守	・全国瞬時警報システム等の保守、防災情報伝達システム運用保守	・全国瞬時警報システム等の保守、防災情報伝達システム運用保守	・全国瞬時警報システム等の保守、防災情報伝達システム運用保守	・全国瞬時警報システム等の保守、防災情報伝達システム運用保守
・感震ブレーカー等設置費補助	・感震ブレーカー等設置費補助	・感震ブレーカー等設置費補助	・感震ブレーカー等設置費補助	・感震ブレーカー等設置費補助
事業費	37,955	37,955	37,955	
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	600	0	0
	一般財源	37,355	37,955	37,955

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	92	目標値	95	96	97	99	100
	単位：%	実績値	92				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	37,955千円	令和3年度決算額	32,616千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■防災士数（新規取得者） 内訳 令和元年度：7人 令和2年度：6人 令和3年度：7人</p> <p>■備蓄食料数 内訳 令和元年度：31,704食 令和2年度：104,706食 令和3年度：125,264食</p> <p>■「館林市の防災を考える日」事業 内訳 令和元年度：実施 令和2年度：未実施 令和3年度：未実施</p> <p>■防災アドバイザー委託 内訳 令和元年度：地区防災計画について 懇談会2回、訪問相談1回、電話相談11回、メール相談6回 令和2年度：要配慮者対策について 懇談会2回、訪問相談1回、電話相談9回、メール相談6回 令和3年度：要配慮者対策について 懇談会2回、訪問相談2回、電話相談10回</p> <p>■情報伝達手段の多様化を図る 令和元年度：たてばやし防災情報伝達システム設計（安全安心メール登録者数 7,086件） 令和2年度：たてばやし防災情報伝達システム工事・運用（安全安心メール登録者数 7,086件） 令和3年度：たてばやし防災情報伝達システム運用（防災情報伝達システム登録者数 9,967件） ※R3.3.15から防災情報伝達システム（@インフォカナル）に移行</p> <p>■感震ブレイカー等設置費補助 内訳 令和元年度：9件、262千円 令和2年度：32件、1,244千円 令和3年度：22件、805千円</p>		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	地域防災計画に基づき、初動体制の強化、情報伝達の強化、備蓄品の充実、要配慮者への避難支援、自主防災組織の強化、地区防災計画の策定など総合的な防災対策や減災対策を推進しなければならない。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災力を高めるためには、さらに自助・共助の体制を推進することが重要である。</li> <li>・被害を最小限に抑えるためには、関係機関等との連携が必要である。</li> <li>・地区防災計画を推進するにあたり、住民にその重要性を理解してもらい災害を我がこととして認識してもらうこと。</li> <li>・防災士について、地域の防災活動に積極的に参画してもらうことと、その活用。</li> </ul>
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
令和5年度事業計画	災害発生時の対応に備え、市民の生命、身体及び財産を災害から守ることを目的に事業を進めていく。 また、自主防災組織の設立支援等、自助、共助の活動の促進を図り、公助として個別避難計画の策定を推進し、市民に対する知育防災意識の高揚を図ることで、市民の安全と福祉の増進に努める。
令和5年度事業計画	① 防災士の育成 ② 備蓄の充実 ③ 出前講座の実施 ④ 防災情報伝達システムによる情報配信 ⑤ 自主防災組織資機材整備事業 ⑥ 地域防災計画の修正 ⑦ 個別避難計画の策定 ⑧ 地区防災計画の策定・支援
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小         ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	36	基本目標	4	分野	防災	担当部署	安全安心課	危機管理・国土強靱化係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
9・1・4	国土強靱化地域計画推進事業				351千円	208千円	1,308千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 8_国土強靱化計画を踏まえた備蓄の確保

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	大規模自然災害に備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧に資する施策を、まちづくり政策や産業政策も含めた総合的な取り組みとして計画的に実施し、強靱な国づくり・地域づくりを推進する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①国土強靱化地域計画推進事業【重要事業】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・館林市強靱化計画の推進、進捗管理の実施</li> <li>・国土強靱化に関する説明会等の開催</li> <li>・大規模災害時協力員制度の運用</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①国土強靱化地域計画推進事業【重】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・館林市強靱化計画推進体制の運用</li> <li>・館林市強靱化計画の推進に関するシンポジウム開催</li> <li>・（仮称）大規模災害時協力員制度の創設</li> </ul>	①国土強靱化地域計画推進事業【重】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・館林市強靱化計画推進体制の運用</li> <li>・館林市強靱化計画の推進に関するシンポジウム開催</li> <li>・（仮称）大規模災害時協力員制度の創設</li> </ul>	①国土強靱化地域計画推進事業【重】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・館林市強靱化計画推進体制の運用</li> <li>・館林市強靱化計画の推進に関するシンポジウム開催</li> <li>・（仮称）大規模災害時協力員制度の創設</li> </ul>
	事業費	1,308	1,308	1,308
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,308	1,308	1,308

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	1,308 千円	令和3年度決算額	325 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和1年 5月～9月</li> <li>・ 令和1年 5月～8月</li> <li>・ 令和1年 7月、11月</li> <li>・ 令和1年8月～9月</li> <li>・ 令和1年10月</li> <li>・ 令和2年3月</li> <li>・ 令和2年5月</li> <li>・ 令和2年8月</li> <li>・ 令和3年3月</li>   <li>・ 令和3年6月</li> <li>・ 令和3年9月</li> </ul>	館林市国土強靱化地域計画策定委員会(計2回) 館林市国土強靱化地域計画策定事務局参事会議(計2回) 館林市防災会議への意見聴取 有識者からのアドバイス聴取 パブリックコメント実施 館林市強靱化計画公表、概要版每户配布 館林ケーブルテレビ「@たてばやし」による広報 館林市強靱化計画策定記念動画配信(計5本) 第7回ジャパン・レジリエンス・アワード 「国土強靱化地域計画」金賞受賞 館林商工会議所青年部での講演 強靱化アクションプラン策定		

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	-
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	国土強靱化基本法第13条により、都道府県又は市町村は、国土強靱化に関する計画等の指針となるものとして、国土強靱化地域計画を定めることができることとなっている。 令和2年3月に館林市強靱化計画を公表し、強靱化に関する各種施策を推進する段階である。
課題	強靱化計画の策定に伴い、計画推進のための施策を具体化したアクションプランをもとに、着実に実行していくことが必要である。 また、施策の推進及び進捗管理においては、PDCAサイクルにより、必要に応じて計画の見直しを図っていくが、そのためには市民や事業者などの意見を広く汲み取り、協働して進めていくことが必要である。
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	令和3年度に策定したアクションプランをもとに、計画の推進の推進を図り、着実にPDCAサイクルを回していく。また、市民懇談会の開催し、市民や事業者等の意見を計画に反映しながら、引き続き強靱化に関する出前講座等の実施を通じて周知啓発に努めていく。
令和5年度事業計画	① 館林市強靱化計画の推進、進捗管理の実施 ② 国土強靱化推進のための市民懇談会の開催 ③ 国土強靱化推進するための出前講座等の開催
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	37	基本目標	4	分野	防災	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
下水道事業会計	管渠整備費 (公共)				343,987千円	322,403千円	398,276千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶4_排水施設整備による被害防止
	▶5_公共下水道及びし尿処理施設の計画的な更新

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	衛生的で快適な生活環境の向上及び河川や沼の水質保全に寄与するため、汚水きよの整備を計画的に進める。また、発生が懸念される集中豪雨による浸水被害を防止するべく、雨水きよの整備を計画的に進め、安全安心なまちをつくる。
令和3年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)	
①汚水きよの整備・更新	
②雨水きよの整備	

### 【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール		①汚水きよの整備・更新工事 ②雨水きよの整備	①汚水きよの整備・更新工事 ②雨水きよの整備	①汚水きよの整備・更新工事 ②雨水きよの整備
事業費		398,276	398,276	398,276
財源	国庫	162,100	162,100	162,100
	県費	1,600	1,600	1,600
	市債	198,700	198,700	198,700
	その他	35,876	35,876	35,876
	一般財源	0	0	0

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	公共下水道雨水きよの整備率	74.4	目標値	74.8	75	75.2	75.4	75.6
		単位：%	実績値	70.2				
総合計画 指標	下水道水洗化率	89.6	目標値	90.2	90.5	90.8	91.1	91.4
		単位：%	実績値	90.8				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	398,276千円	令和3年度決算額	294,766千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	委託料	工事請負費		
	令和元年度	55,887千円	174,548千円	
	令和2年度	44,616千円	271,142千円	
	令和3年度	46,673千円	245,122千円	
R3：汚水管きよ実施設計業務委託、汚水管築造工事、汚水幹線築造工事、雨水幹線築造工事 等				

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	未整備地区の整備が必要なうえに、今後、管きよの耐用年数が50年を経過するものが急速に増加してくる。管きよの老朽化は、社会的影響も大きいため早急な対応が必要であり、管路ストックマネジメント計画に基づき調査、点検、改築事業を計画的に進める必要がある。					
課題	市民の日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生等を未然に防止するため、調査、点検を実施し、予防保全型の計画的、効率的な維持管理を進めていく。施設の健全度により多額の改築費が必要となってくる。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	・下水道管きよの整備及び下水道の維持・更新を効率的に推進していく。					
令和5年 度事業計 画	①汚水きよの整備・更新工事 ②雨水きよの整備					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	38	基本目標	4	分野	道路・交通	担当部署	安全安心課	交通防犯係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
2・1・11	公共交通整備事業				152,582千円	145,968千円	131,320千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶5_移動環境の確保

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通弱者の移手段確保のため、公共交通機関としての路線バスの安定した継続的運行を図る。</li> <li>・ 公共交通の利便性や効率性の向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築を図る。</li> </ul>
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<b>①公共交通整備【重要事業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共路線バスの安定した運行 「館林・板倉北線」、「館林・千代田線」、「館林・板倉線」、「多々良巡回線」、「渡瀬巡回線」、「館林・明和・千代田線」、「館林・邑楽・千代田線」を運行し、運行費補助金を交付 「赤羽線」及び「（仮称）茂林寺巡回線」を新設し、運行費補助金を交付 館林駅東口と公立館林厚生病院を結ぶ「厚生病院シャトル線」の運行</li> <li>・ 分かりやすい公共交通情報の提供</li> </ul>	

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①公共交通整備【重】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共路線バス運行費補助</li> <li>・ 「赤羽線」及び「（仮称）茂林寺巡回線」新設</li> <li>・ バスロケーションシステム運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①公共交通整備【重】</li> <li>・ 公共路線バス運行費補助</li> <li>・ 広域路線バス見直し</li> <li>・ 市内巡回線新設</li> <li>・ バスロケーションシステム運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①公共交通整備【重】</li> <li>・ 公共路線バス運行費補助</li> <li>・ 広域路線バス見直し</li> <li>・ 市内巡回線新設</li> <li>・ バスロケーションシステム運用</li> </ul>
	事業費	131,320	131,320	131,320
財源	国庫	0	0	0
	県費	6,207	6,207	6,207
	市債	0	0	0
	その他	49,647	49,647	49,647
	一般財源	75,466	75,466	75,466

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	路線バスの年間利用者数 【総合戦略KPIを兼ねる】	目標値	258,459	268,844	279,229	289,614	300,000
		実績値	209,681				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	131,320 千円	令和3年度決算額	121,959 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①公共交通整備【重】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共路線バス運行費補助実績                      令和元年度：利用者数 248,074人 / 109,397,000円                      令和2年度：利用者数 188,632人 / 132,482,000円                      令和3年度：利用者数 209,681人 / 115,027,000円</li> <li>・ 「赤羽線」及び「茂林寺巡回線」新設実績                      令和3年度：赤羽線 (R3.3.23運行開始) 利用者数 1,847人                      茂林寺巡回線 (R3.12.15運行開始) 利用者数 740人</li> <li>・ バスロケーションシステム運用実績 (アクセス数)                      令和元年度：63,482件                      令和2年度：54,462件                      令和3年度：49,285件</li> </ul>			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	・ 高齢者や学生など運転免許証や自動車を保有していない交通弱者にとって、路線バスは移動手段の要であり、今後、「館林都市圏地域公共交通計画」に基づき、市内の生活路線を新設・拡充することにより、利用者や移動目的に合わせた地域公共交通網を構築していく必要がある。					
課題	・ バス利用者の増加 ・ 「館林都市圏地域公共交通計画」に基づき、持続性のある公共交通ネットワークを整備予定であるが、広域路線の再編については四町との合意形成に時間を要する。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	・ 公共路線バスは、高齢者や学生など、交通弱者にとって日常生活に必要な交通手段であるため、利用しやすいよう、広域路線の再編や市内路線の整備を行う。					
令和5年度事業計画	・ 広域路線の再編及び市内路線の整備 ・ バスロケーションシステムのPR					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	39	基本目標	4	分野	道路・交通	担当部署	都市計画課	施設計画係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・4・2	中央通り線道路改良事業				1,185,077 千円	1,444,181 千円	830,421 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶6_ウォーカブルなまちづくりの推進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市の中心部を南北に通る骨格軸であり、近隣コミュニティ相互の連携を強化し、歩行者の安全な通行を確保するため道路整備を実施。群馬県の一次緊急輸送道路に指定されており、電線類の地中化により、災害時の通行路を確保するとともに都市景観の向上を図る。 事業期間：平成28年度～令和11年度 中央通り線 560m、大手町大街道線 220m
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
平成29年度	用地測量、建物等補償調査
平成30年度	用地買収 A= 376.31㎡
令和元年度	用地買収 A= 357.08㎡
令和2年度	用地買収 A=1,674.71㎡
令和3年度	用地買収 A= 462.24㎡

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール		【中央通り線用地買収業務の受託】 ・用地買収 A= 462.24㎡ ・次年度以降の用地交渉	【中央通り線用地買収業務の受託】 ・用地買収 A= 2,259.0㎡ ・次年度以降の用地交渉	【中央通り線用地買収業務の受託】 ・用地買収 ・次年度以降の用地交渉
事業費		830,421	762,611	762,611
財源	国庫	0	0	0
	県費	715,750	644,175	644,175
	市債	113,400	113,400	113,400
	その他	0	0	0
	一般財源	1,271	5,036	5,036

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	都市計画道路の整備率	目標値	-	-	-	-	65.2
		実績値	-	-	-	-	-
活動指標	都市計画道路の整備延長	目標値	-	-	-	-	39.87
		実績値	-	-	-	-	-
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	830,421 千円	令和3年度決算額	630,633 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和元年度以前	用地買収 A=	376.31 m <sup>2</sup>	
	令和元年度	用地買収 A=	357.08 m <sup>2</sup>	
	令和2年度	用地買収 A=	1,674.71 m <sup>2</sup>	
	令和3年度	用地買収 A=	492.37 m <sup>2</sup>	
	合計	用地買収 A=	2,900.47 m <sup>2</sup>	全体進捗 約 46.55% (6,230.74 m <sup>2</sup> )

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	-
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	計画的に用地の取得が行えていることで段階的であるが拡幅工事も計画されている。令和11年度の工事完成向け都市計画道路の整備率、都市計画道路の整備延長の増進が図れている。
課題	権利者の再建計画や事業理解を得て、早期の工事着手に向けた用地取得が課題である。
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	工事着手が可能となるよう連続した区間の土地取得を進める。
令和5年 度事業計 画	・用地の取得交渉 ・群馬県による埋蔵文化財調査や電線共同溝工事を予定
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小                 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	40	基本目標	4	分野	文化	担当部署	文化振興課	日本遺産推進係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
2・1・1	日本遺産推進事業				32,123千円	29,604千円	31,032千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち ▶Ⅳ_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶15_地域の歴史や伝統・芸術や文化に誇りを持ち、魅力ある文化を育み、心豊かに暮らせるまちになる ▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶6_日本遺産を活用した地域の魅力発信や環境整備 ▶1_観光資源の創出と活用

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市に存在する文化・歴史と観光・産業等を融合させ、令和元年度文化庁日本遺産に認定された「里沼(SATO-NUMA)」を地域活性化や外国人インバウンド等の向上につなげる。「里沼」ストーリーと地域に点在する構成文化財のもつ価値・意義を市民に伝えることにより、シビックプライド醸成による地域活性化、観光・インバウンド増加による経済効果を目的とする。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
1. 日本遺産推進事業	
①事業概要：「日本遺産」認定後の推進組織の運営及び、地域活性化計画に位置付けられた各種事業の展開を推進する。歴史や文化財と、本市に存在する観光や産業などを融合させ、郷土愛(シビックプライド)の醸成による地域振興や国内外からの来訪者による交流人口、定住者を含めた関係人口の増加を目指す。	
②事業内容：	
(1)「里沼」の調査・研究・普及・啓発 →(A)調査・研究事業の実施 (B)普及・啓発事業の実施 (C)先進地事例の視察、外部研修会等への参加 (D)展示会・PRイベント等の開催	
(2)里沼シティプロモーション →(A)群馬ダイヤモンドペガサス連携事業 (B)インターネットを活用した情報発信	
2. 「里沼」体感！ワークショップ事業	
①事業概要：「里沼」を活かしたワークショップを具体的に展開し、本市の魅力向上やコト消費の充実につなげる。	
②事業内容：	
(1)「里沼」題材の各種ワークショップの開催 →(A)地域プレイヤーと連携したワークショップ実施	
(2)里沼カヌー・カヤック講座の開講 →(A)(B)里沼カヌー・カヤック講座・体験会実施 (C)城沼水面利用ルール策定・届出制度運用	
(3)体験型プログラム創出を目的とした調査・検討 →(A)新ワークショッププログラム創出のための検討	
3. 日本遺産推進協議会等支援事業	
①事業概要：日本遺産推進事業に同じ (*日本遺産「里沼」地域活性化計画に位置付けた協議会事業[令和元～6年度])	
②事業内容：	
(1)館林市「日本遺産」推進協議会事務局 →(A)館林市「日本遺産」推進協議会の運営 (B)文化庁補助事業の執行 (C)ヌマペーション連絡協議会の運営 (D)推進協議会補助金・貸付金の管理	
(2)経済部局と連携した文化庁補助事業の実施→(A)日本遺産及び「里沼」ロゴ許認可事務 (B)庁内タスクフォース会議への参加と関係課調整	

### 【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	事業費	31,032	26,000	26,000	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		31,032	26,000	26,000	

### 【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	小・中学生における日本遺産「里沼」の認知度	0	目標値	63.0	66.0	68.0	70.0	73.0
		単位：%	実績値	61.6				
活動指標	日本遺産「里沼」関連で開発された商品・サービス数	0	目標値	20	25	28	30	32
		単位：件	実績値	34				
活動指標	日本遺産への協力件数(市民・ガイド団体+民間事業者等)	8	目標値	25	30	32	33	35
		単位：件	実績値	735				
活動指標	観光客入込み数	150	目標値	189	196	200	200	200
		単位：万人	実績値	50				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	31,032 千円	令和3年度決算額	29,280 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>【平成30年度】《文化振興課にて申請事務。6月補正にて商工費⇒総務費へ組替え》平成30年度末までに文化庁(3回)、県(2回)との協議、先進地視察(桐生市・宇都宮市・足利市・行田市)、PR活動・アンケート調査(武鷹館つつじまつり、市民講座等)、ワークショップ(中部公民館歴史散策講座)、異才発掘ROCKETプロジェクトにおける講座等を実施。申請事務を進めるとともに、地域の魅力を掘り起こし、地元住民へ伝える取組みを推進。日本遺産を通じた地域活性化計画(まちづくり計画)も併せて作成。文化財係で進める歴史文化基本構想策定の補助も行う。(平成30年12月策定済)※日本遺産については、平成31年1月23日に文化庁へ申請</p> <p>【平成31年・令和元年度】《引続き文化振興課にて事務実施》4月24日文化庁よりヒアリングが実施され、5月20日「日本遺産」認定。認定に伴い、6月27日館林市「日本遺産」推進協議会を設立。補助金交付決定後、6分野17事業実施。[商工課・つつじのまち観光課・文化振興課]庁内調整会議16回、国県との協議10回、日本遺産「里沼」を普及啓発するためのシンポジウムをはじめとする啓発活動38回、里沼を体感するためのWS活動11回実施。</p> <p>【令和2年度】引続き文化振興課にて事務を行う。新型コロナウイルスの影響により上半期は事業実施が困難であるものの、7月27日第2回館林市「日本遺産」推進協議会、11月に館林市ヌマペーション連絡協議会を開催。文化庁補助金を活用し、人材育成・普及啓発・調査研究・情報発信・活用整備分野における各種事業を展開した。</p> <p>【令和3年度】文化振興課に日本遺産推進係を新設し、企画課が担っていた推進協議会事務局事業を統合。引続き新型コロナウイルスの影響により大規模なイベント・PR活動等は開催できながったが、市単事業及び推進協議会事業を中心に人材育成、普及啓発、調査研究、情報発信、活用整備の各分野での事業を展開した。特に新規事業として、里沼カヌー・カヤック講座や市内小・中学校の総合学習と連携した普及によるシビックプライド醸成に取り組んだ。</p>		

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	日本遺産推進事業は、第6次総合計画において重要事業に位置しており、日本遺産「里沼」認定を通して、本市の文化・歴史を観光・産業と結びつけることで、地域振興へと繋げることができる。また、地元住民が自分たちの地域の魅力を再認識することで、地域活性化や魅力あるまちづくりへの気運の醸成を図ることができる。
課題	(1) 地域活性化を進めるにあたり、事業推進に適した体制づくり・人材確保が必要。 (2) 各種事業展開に向けた庁内における高いレベルでの共通認識(庁内連携)。 (3) 地域で活躍するプレイヤーの発掘・選定・活動支援。 (4) 地域住民が館林市の魅力を再認識できるような機会(普及活動・連携事業)の提供。 (5) 円滑に事業推進できるための予算(推進協議会の原資等)及び人員確保。
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	■文化庁は、令和3年度に日本遺産再審査制度を導入した。認定6年間経過後のストーリー浸透や各種事業展開の継続性、事業推進体制の「自走」など、地域活性化の度合いを検証し、取組みが不十分な場合は「認定取消し」措置が行われる。 ■本市においては(A)活動者の「自走」(＝行政の資金投入はあるものの、組織運営や事業実施自体はプレイヤーを統括できる人材が担っている状態)と、(B)資金面での「自走」(＝推進体制が将来的に法人化・会社化し、独立採算(一部行政からの資金援助)での組織運営、事業実施ができていない状態)と段階的に区分し、(A)の成果が出つつある状況。令和4～6年度で早期に(A)活動者の「自走」を実現し、段階的に(B)資金面での「自走」への移行に向けた検討に着手したい。 ■本市においては日本遺産「里沼」に対して①シビックプライド醸成、②ブランディングを主眼として取り組んできたが、収益化が難しく且つ地道な普及活動が鍵を握る①については、引き続き館林市が主体となって普及啓発や人材育成、調査研究分野における下支えを行う必要がある。一方で情報発信や活用整備に関する②は、民間事業者や民間活動者の巻き込みが重要であることから、現在検討が進められている観光協会法人化等の動きと密接に連動させ、日本遺産「里沼」の推進を図っていくことが重要。
令和5年度事業計画	■令和3年度より日本遺産推進係が新設されたが、事業を継続していくための庁内体制(人員配置・予算確保等)整備が必要。日本遺産「里沼」は文化財部局だけでなく、企画部局・経済部局と連携し、全庁的に「里沼」地域活性化計画事業を推進・展開する必要があることから、教育委員会ではなく政策企画部に移して司令塔機能を強化することが重要である。 ■地域活性化計画に位置付けた16事業(令和元～3年度)→10事業(*統合集約：令和4年度～)を引続き実施しながら、活動指標に掲げた4つのKPIの達成に向けて取り組んでいく。
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	41	基本目標	4	分野	スポーツ	担当部署	スポーツ振興課 振興係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
10・6・1	体育・スポーツの振興 (生涯スポーツ振興事業)				1,259千円	561千円	1,338千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶16_スポーツを生活に取り入れ、誰もがスポーツを楽しめるまちになる
施策の方向	▶1_スポーツ環境の充実

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	スポーツを日常生活に欠かせない文化として根付かせるとともに、地域住民一人ひとりの取り組みが、継続して実施されるよう、各般にわたるスポーツ環境の整備のための事業を推進する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①スポーツ教室の開催 スポーツ・レクリエーション活動の振興と市民の健康増進を図るため、各種スポーツ教室を開催し、これまでスポーツ活動機会の少なかったかたに、スポーツに親しむ機会を提供する。</p> <p>②ファミリースポーツ活動推進事業 親子のふれあいを深めることを目的に、体を動かすことの楽しさ・大切さを知る機会とする。</p> <p>③中高年スポーツ活動推進事業 中高年を対象に、健康の保持増進と仲間づくりを図りながら、生涯スポーツ活動の普及を推進する。</p> <p>④健康づくり事業 市民が健康で自立した生活を維持するため、運動習慣の継続が可能となる環境整備を行う。</p> <p>⑤地域スポーツ活動推進事業 スポーツ・レクリエーション活動を通じて地域住民の連帯の輪を深め、一人ひとりが健康体力の保持増進を図り、生涯にわたりスポーツに親しむことを目的とする。</p>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	事業費	1,338	1,350	1,350	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	1,338	1,350	1,350
		①生涯スポーツ振興事業【重】 ・スポーツ教室の開催 ・ファミリースポーツ活動推進事業の実施 ・中高年スポーツ活動推進事業の実施 ・健康づくり事業の実施 ・地域スポーツ活動推進事業の実施	①生涯スポーツ振興事業【重】 ・スポーツ教室の開催 ・ファミリースポーツ活動推進事業の実施 ・中高年スポーツ活動推進事業の実施 ・健康づくり事業の実施 ・地域スポーツ活動推進事業の実施	①生涯スポーツ振興事業【重】 ・スポーツ教室の開催 ・ファミリースポーツ活動推進事業の実施 ・中高年スポーツ活動推進事業の実施 ・健康づくり事業の実施 ・地域スポーツ活動推進事業の実施	

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	スポーツ実施率（週1回以上）【総合戦略KPIを兼ねる】	目標値	31.3	37.5	40.7	43.8	46.9	50.0
		実績値	706	49.6				
総合計画 指標	各種スポーツ教室への参加者数	目標値	706	804	853	902	951	1,000
		実績値	706	469				
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	1,338千円	令和3年度決算額	527千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<b>【令和元年度実施事業】</b> エクササイズdeリフレッシュ教室ほか9教室、ファミリースポーツ活動(3教室中止)、地域スポーツ活動(6支部・2支部中止)、スポーツ指導者講習会(2回)、水中かるた大会(中止)、市民体力測定(中止)、市民レクリエーション大会他	・生涯スポーツ振興事業の開催 令和元年度：延 1,470人参加 令和2年度：延 771人参加 令和3年度：延 689人参加		
	<b>【令和2年度実施事業】</b> スポーツ教室 大人のためのラグビー初心者教室、エアロビックチャレンジ2021(障がい者)、ステップde筋力UP教室ほか7教室 ファミリースポーツ活動 ☆JONUMA☆親子テーパーボール教室、親子de卓球体験教室ほか3教室 ※中止事業 地域スポーツ活動(8支部中止)、スポーツ指導者講習会、水中かるた大会、市民体力測定、市民レクリエーション大会ほか			
	<b>【令和3年度実施事業】</b> 春から始める♪初めてのヨガ教室ほか5教室(5教室中止)、ファミリースポーツ活動(2教室実施)、地域スポーツ活動(1支部実施・7支部中止)、スポーツ指導者講習会(1回実施・2回中止)、定期ふれあいウォーク(1回実施・2回中止)、たてばやしウォーク2021(1回実施・2回中止) ※中止事業 中高年スポーツ活動、障がい者レクリエーション、水中かるた大会、市民体力測定、市民レクリエーション大会他			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られている	□ 低	成果が低水準にある
事業の効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	年齢、性別、障がいの有無に関わらず、対象者の特性やニーズに応じた事業を行なうことで、日常生活に運動・スポーツを取り入れるきっかけとなり、市民の健康寿命の延伸を図ることができる。 市民福祉の向上には欠かせないアイテムとして、事業内容の充実及び関係機関等との連携による運動・スポーツの普及推進及び健康についての正しい知識の普及を図る。					
課題	少子高齢化等による競技人口の減少、競技団体組織の高齢化、役員・指導者の不足等による組織力の低下が懸念され、競技スポーツの衰退に繋がりがかねない。					
【Action】 今後の方向性・内容	■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)					
令和5年度事業計画	地域スポーツの普及振興のために、幅広い年齢層を対象にニーズの把握等に努め、種目などの工夫による継続した事業展開を図っていく。 健康づくり事業・スポーツ教室の開催、ファミリースポーツ活動、地域スポーツ活動(8支部)、各種ウォーキング事業、体力測定、レクリエーション大会、軽スポーツ出前講座の開催。 水中かるた大会については、館林かるたを取り組んでいる地区も無く、令和3年度をもって事業廃止とした。					
予算規模見込み	■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小 ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	42	基本目標	4	分野	行政活動	担当部署	財政課	管財係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
2・1・5	市有財産管理費				15,617千円	9,605千円	33,728千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶V_公民連携を推進し地域経営の視点を持つ持続可能なまち
施策目的	▶29_時代に対応できる自立した持続可能なまちになる
施策の方向	▶6_公共施設等の最適化

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	公共施設の老朽化が進む一方で、多様化する市民ニーズに対応するとともに行政サービスの水準を確保するため、公共施設の計画的な更新・統合・長寿命化を推進し、施設の適正配置や財政負担の軽減・平準化を図る。また、市有財産を有効活用し、歳入を確保する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>○市有財産管理事業【重要事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市有財産の適正管理及び有効活用</li> <li>・未利用市有地の処分・貸付などの推進</li> <li>・未利用市有地の定期的な巡回及び除草管理</li> <li>・公共施設等マネジメント庁内推進委員会による公共施設等総合管理計画等の進捗管理</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		○市有財産管理事業【重】 ・市有財産の適正管理及び有効活用 ・未利用市有地の処分・貸付などの推進 ・未利用市有地の定期的な巡回及び除草管理 ・公共施設等マネジメント庁内推進委員会による公共施設等総合管理計画等の進捗管理	○市有財産管理事業【重】 ・市有財産の適正管理及び有効活用 ・未利用市有地の処分・貸付などの推進 ・未利用市有地の定期的な巡回及び除草管理 ・公共施設等マネジメント庁内推進委員会による公共施設等総合管理計画等の進捗管理	○市有財産管理事業【重】 ・市有財産の適正管理及び有効活用 ・未利用市有地の処分・貸付などの推進 ・未利用市有地の定期的な巡回及び除草管理 ・公共施設等マネジメント庁内推進委員会による公共施設等総合管理計画等の進捗管理
事業費		33,728	33,728	11,673
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	33,728	33,728	11,673
	一般財源	0	0	0

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	市有財産の適正管理（巡回数）	12	目標値	12	12	12	12	12
		単位：回	実績値	12				
活動指標	市有財産の有効活用（売払い件数）	2	目標値	1	1	1	1	1
		単位：件	実績値	0				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	33,728 千円	令和3年度決算額	15,896 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■市有地除草業務委託 R元：15か所（1,001,000円）、R2：15か所（1,034,000円）、R3：15か所（891,000円） ■未利用市有地の処分、貸付など【歳入】 ・貸付による収入（庁舎等使用料・土地等貸付収入） R元：45,129,631円、R2：45,256,949円 R3：45,746,908円 ・未利用地売却実績（財政課所管土地） R元：2件（87,320,500円） R2：3件（88,327,292円） R3：0件（0円）			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られている	□ 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	市有財産を適正に管理した。また、市有財産の有効活用については、未利用地の売却に向け1件の入札の実施を試みたが、申込みがなく実績がなかった。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未利用市有地を売却するための条件整備</li> <li>・市有財産の処分や貸付による財源の確保</li> <li>・市有財産の適切な管理と有効活用</li> <li>・公共施設等マネジメントの運用</li> </ul>					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	引き続き未利用市有地の売却による歳入増及び除草費等の管理費の縮減や市有施設の利用促進による歳入確保に努めていく。					
令和5年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有財産の適正管理</li> <li>・市有財産の有効活用</li> </ul>					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	43	基本目標	4	分野	行政活動	担当部署	企画課	政策推進係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
2・1・6	まちひとしごと創生推進事業				15,488千円	1,483千円	15,915千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶1_地方創生施策の推進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	急激な少子高齢化の進展に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京への人口一極集中を是正し、持続可能な社会形成を行うために、第2期総合戦略に基づき、各施策を着実に実施する。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①まちひとしごと創生推進事業【重要事業】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証を行う。</li> <li>・ ふるさと回帰支援センターや群馬県等と連携し、移住相談会を実施するなど、U I J ターンのための情報提供を行う。</li> <li>・ 各種移住定住施策を推進し、人口減少の緩和と交流人口の拡大を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(婚活支援事業補助金) 男女の出会いの場を提供する事業又は結婚を促進するための事業を行う団体に対し、事業費の一部を補助する。</li> <li>(わくわく地方生活実現支援金) 地域経済の活性化と移住・定住の促進を図るため、東京圏からの移住者等に対し支援金を支給する。</li> <li>(市有地活用移住定住支援金) 移住者が市有地を購入し、居住住宅を建設した場合に支援金を支給する。</li> <li>(定住促進通学支援金) 若者の定住化を促進するため、市内から東京都等に通学する者に対して支援金を支給する。</li> <li>(移住促進まちなか新築住宅取得支援金) まちなかの定住人口増加及び活性化のために、まちなかに新たに住宅を取得した者に支援金を支給する。</li> </ul> </li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①まちひとしごと創生推進事業【重】 ・ 第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証 ・ ふるさと回帰支援センターや群馬県等との連携推進 ・ 各種移住定住施策の推進		①まちひとしごと創生推進事業【重】 ・ 第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証 ・ ふるさと回帰支援センターや群馬県等との連携推進 ・ 各種移住定住施策の推進	①まちひとしごと創生推進事業【重】 ・ 第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証 ・ ふるさと回帰支援センターや群馬県等との連携推進 ・ 各種移住定住施策の推進
	事業費	15,915	14,669	14,669
財源	国庫	3,450	3,450	3,450
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	12,465	11,219	11,219

### 【関連する指標】

総合戦略 KPI	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	移住定住の相談人数（累計）	27	目標値	30	60	90	120	150
		単位：人	実績値	27				
総合戦略 KPI	東京都でのPR活動回数（累計）	2	目標値	2	4	6	8	10
		単位：回	実績値	7				
総合戦略 KPI	市の支援による婚活イベント参加者数（累計）	65	目標値	89	178	267	356	445
		単位：人	実績値	0				
総合戦略 KPI	市の支援による婚活事業でのカップル成立数（累計）	5	目標値	10	20	30	40	50
		単位：組	実績値	0				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	15,915千円	令和3年度決算額	5,327千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【第2期総合戦略の進行管理及び事業検証】 目標達成に向け順調に推移している指標割合 令和元年度：51.6% 令和2年度：46.4% 令和3年度：143.6% ※令和元年度及び2年度は、第1期総合戦略の実績。		
	各種移住定住施策 【令和3年度】 ・婚活支援事業補助金 1件 159,170円 ・わくわく地方生活実現支援金 3件 1,800,000円 ・市有地活用移住定住支援金 1件 500,000円 ・定住促進通学支援金 115件 2,245,330円 ・移住促進まちなか新築住宅取得支援金 1件 450,000円 【令和2年度】 ・婚活支援事業補助金 0件 0円 ・わくわく地方生活実現支援金 0件 0円 ・市有地活用移住定住支援金 0件 0円 ・定住促進通学支援金 46件 893,000円 【令和元年度】 ・婚活支援事業補助金 4件 739,130円 ・わくわく地方生活実現支援金 0件 0円 ・市有地活用移住定住支援金 0件 0円		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	・東京都でのPR回数や市の支援による婚活イベント参加者数をはじめ、新型コロナウイルス感染症の拡大により実績に影響が出たものが多い。 ・一方で、定住促進通学支援金については、通学を再開した学生が増えたことから件数が大きく伸びている。 ・わくわく地方生活実現支援金（移住支援金）についても、地方移住への関心の高まりや制度の浸透などにより、申請及び問い合わせ件数も増えてきている。
課題	移住支援全般について、現在は新型コロナウイルス感染症の影響により非対面でのイベントが主流となっている。以前までは東京都内で群馬県全体の相談会を開催するなど、群馬県への移住に興味がある方を広くターゲットとできたが、オンラインの場合は対面イベントと比べて参加のハードルが高く、また個々の市町村の知名度などが求められる。また、結婚支援に関しても同様に、対面での開催が難しく、非対面（オンライン）への対応が必要不可欠だと思われる。
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止） 地方創生（まち・ひと・しごと総合戦略の推進）は、人口減少対策を目的としており、持続可能なまちづくりのために必要不可欠な事業である。他市町と同様の施策を実施していても、本市への移住者の増加は見込めないことから、本市の優位性を生かした施策を検討しなければならない。このため、既存事業の効果検証を行い、常に事業の改善を図る必要がある。
令和5年度事業計画	・総合戦略の進捗管理 ・移住関連イベントの実施 ・各種移住定住施策の実施 ・移住コーディネーターとの協働による情報発信 ・婚活事業の支援
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	44	基本目標	4	分野	行政活動	担当部署	企画課	政策推進係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
2・1・6	ふるさと納税事業				23,673千円	41,342千円	12,366千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶V_公民連携を推進し地域経営の視点を持つ持続可能なまち
施策目的	▶29_時代に対応できる自立した持続可能なまちになる
施策の方向	▶7_自主財源の確保

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	ふるさと納税制度は、寄附というかたちでふるさとに貢献する、または自分の意思で自治体を応援する制度で、寄附をしていただいた方に市の特産品をお礼として贈り、寄附促進により自主財源を確保するとともに、地元特産品のPRや販路拡大により地場産業の振興を図る。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

#### ①ふるさと納税事業【重要事業】

（制度の周知）

パンフレットの作成。ホームページ等によるPR。

（寄附金受領証明書の発行）

寄附者に対し、寄附金受領証明書を発行・送付。

（寄附者への本市の魅力PR）

寄附者への謝意及び特産品PRとの相乗効果による寄附促進を目的として、本市特産品等を贈呈。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①ふるさと納税事業【重】 ・制度周知 ・新たな返礼品の追加 ・寄附金の使い道や返礼品のPRによる寄附促進		①ふるさと納税事業【重】 ・制度周知 ・新たな返礼品の追加 ・寄附金の使い道や返礼品のPRによる寄附促進	①ふるさと納税事業【重】 ・制度周知 ・新たな返礼品の追加 ・寄附金の使い道や返礼品のPRによる寄附促進
	事業費	12,366	15,823	15,823
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	12,366	15,823	15,823

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	経常収支比率	98.2	目標値	97.34	96.91	96.48	96.05	95.6
		単位：%	実績値	89.80				
総合戦略 KPI	ふるさと納税寄附金額（累計）	100,494	目標値	100,000	200,000	300,000	400,000	500,000
		単位：千円	実績値	59,032				
活動指標	ふるさと納税寄附件数（累計）【R4.6 追加】	787	目標値	2,000	4,000	6,000	8,000	10,000
		単位：件	実績値	3,168				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	12,366 千円	令和3年度決算額	26,044 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・ふるさと納税寄附金額  令和元年度：100,494千円（787件） 令和2年度：113,426千円（1,355件） [前年対比]寄附額 113% 寄附件数 172% 令和3年度：59,032千円（3,168件） [前年対比]寄附額 52% 寄附件数 234%			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与 している事業であ る	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得ら れている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果 が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	・返礼品代や送料などの経費が生じる事業ではあるが、生じた経費以上に寄附を受け入れることができるため、自主財源の確保という点において必要不可欠な事業である。 ・既存返礼品の取扱終了等により第2期総合戦略における目標（100,000千円/年）を達成することは出来なかったが、新規返礼品の追加等により寄附件数が対前年度比で234%となるなど、着実に寄附の増進を図っている。 ・返礼品として一番多く占めていた金券は送料が少額であったが、令和3年度に新たに導入した返礼品の多くは金券と比較して送料が割高であるため、寄附受入額に占める経費率が数%増加した。					
課題	・金券を返礼品として取り扱えない中、目玉になり得る返礼品の開拓が必要であること ・ふるさと納税ポータルサイトについて、現在1社しか利用していないこと ・クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した企画の設計が求められていること					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
令和5年 度事業計 画	厳しい財政状況の中、自主財源の確保は最重要命題のひとつである。ふるさと納税事業は、健全な財政運営を行ううえで大きな役割を果たしているため、今後はふるさと納税ポータルサイトの追加や事務委託の実施など、効率的な寄附受入額の増大を図っていく。  ・制度の周知 ・新たな返礼品の追加 ・返礼品のPRによる寄附促進 ・ふるさと納税ポータルサイト追加 ・寄附金の使い道検討 ・クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した企画の検討					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	45	基本目標	4	分野	行政活動	担当部署	企画課	ICT推進係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
2・1・8	情報化推進事業				59,528 千円	62,912千円	61,433 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶V_公民連携を推進し地域経営の視点を持つ持続可能なまち
施策目的	▶29_時代に対応できる自立した持続可能なまちになる
施策の方向	▶10_ICT化の推進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民の情報を安全に管理し、市の業務を効率よく円滑に進めるため、機器の整備や運用・管理を行う。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<b>情報化推進事業【重要事業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イントラネットシステム保守 市内各施設を結ぶイントラネット網に係る保守</li> <li>・自治体中間サーバ等移行業務委託 国のマイナンバーシステム更新による、機器の設置や接続など</li> <li>・複合機導入設置業務委託 複合機の更新を行うため、機器の入れ替え作業や集計システムを設定するもの</li> <li>・社会保障・税番号制度システム改修委託 健康管理システムのデータ標準レイアウトやパーソナルヘルスレコードに対応するための住基システムの改修業務</li> <li>・ネットワーク機器更改 施設間の接続機器のリース満了に伴う更新業務</li> <li>・タブレット・スマートフォン入門講座 初心者に向けたタブレット・スマートフォンの使い方講座</li> <li>・AI・RPA実証実験 AI・RPAの導入に向けた動作確認や選定作業</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	情報化推進事業【重要事業】	情報化推進事業【重要事業】	情報化推進事業【重要事業】	情報化推進事業【重要事業】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イントラネットシステム保守</li> <li>・自治体中間サーバ等移行業務委託</li> <li>・複合機導入設置業務委託</li> <li>・社会保障・税番号制度システム改修委託</li> <li>・ネットワーク機器更改</li> <li>・タブレット・スマートフォン入門講座</li> <li>・AI・RPA実証実験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イントラネットシステム保守</li> <li>・社会保障・税番号制度システム改修委託</li> <li>・タブレット・スマートフォン入門講座</li> <li>・AI・RPA導入運用業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イントラネットシステム保守</li> <li>・社会保障・税番号制度システム改修委託</li> <li>・イントラネット端末更改</li> <li>・タブレット・スマートフォン入門講座</li> <li>・AI・RPA導入運用業務</li> </ul>	
事業費		61,433	61,433	61,433
財源	国庫	2,567	2,567	2,567
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	58,866	58,866	58,866

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	電子申請利用件数（累計）	475	目標値	10,000	20,000	30,000	40,000	50,000
		単位：件	実績値	7,368				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	61,433 千円	令和3年度決算額	65,202 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電子申請利用件数                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度までに累計実績 23,067件 (内訳) 令和元年度：475件、令和2年度：15,224件、令和3年度：7,368件</li> </ul> </li> <li>■ その他事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イン트라ネットシステム保守</li> <li>・ 自治体中間サーバ等移行業務委託</li> <li>・ 複合機導入設置業務委託</li> <li>・ 社会保障・税番号制度システム改修委託</li> <li>・ ネットワーク機器更改</li> <li>・ タブレット・スマートフォン入門講座</li> <li>・ AI・RPA実証実験</li> </ul> </li> </ul>		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	電子申請利用件数について28事業の7,368件で、令和元年度実績よりは大幅に増加しているが目標値10,000件に対して73.7%であったための、C評価としている。 ただし、ワクチン接種関連申請 3,494件、こども福祉課アンケート 1,090件など大幅に申請件数を伸ばした事業もある。行政手続きのオンライン化は今後の行政運営に必要であるため件数の増加に向けて今後も事業継続をしていく。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子申請利用に利用できる業務の把握。</li> <li>・ 特定の部署のみが電子申請を活用しているため、電子申請システムの庁内周知</li> <li>・ 電子申請を活用できる対象者（若い世代）向けの各種調査に対する電子申請への切り替え</li> </ul>					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	行政手続きのオンライン化や窓口改革は、どの地方公共団体も取り組んでいる課題であり、DXの波と合わせて取り組むべき課題である。 ぐんま申請システムの積極的な活用促進を図るために、職員向けの操作説明を含めた周知を図るとともに全庁的な電子申請の流れをつくれるように尽力する。 また、マイナポータルなど、その他の申請システムの検討も実施する					
令和5年 度事業計 画	電子申請利用件数の増加（電子申請システムを取扱う業務の増加） 行政手続きのオンライン化に向けた庁内プロジェクトチームによる調査・研究 ◆ その他事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イン트라ネットシステム保守</li> <li>・ 社会保障・税番号制度システム改修委託</li> <li>・ イン트라ネット端末更改</li> <li>・ タブレット・スマートフォン入門講座</li> <li>・ AI・RPA導入運用業務</li> </ul>					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較				
備考						